城陽未来まちづくり会議
（55人委員会）

じょうりんちゃん

報 告 書

令和7年（2025年）3月

城陽市 企画管理部 秘書広報課

目　次

第１章　城陽未来まちづくり会議の実施概要----------１ 頁

第２章　議論に向けて----------４ 頁

第３章　各班のグループワーク、発表内容----------５ 頁

第４章　まとめ----------21 頁

第５章　資料編----------24 頁

第１章　城陽未来まちづくり会議の実施概要

１－１　会議開催の目的と位置づけ

城陽未来まちづくり会議は平成 26 年度（2014 年度）から始まった取り組みです。これまで行政に声を届ける機会が少なかった市民の方に、市政への参加を促し、その意見を市政に取り入れること、またそのことを通じて市民意識の高揚を図り、市民活動の担い手の掘り起こしにつなげることを目的に開催しています。従って、会議での意見については、諮問に対する答申や提言といったものではなく、「幅広い市民の声」として位置づけられるものとなります。

１－２　参加者について

（１）参加希望者の選定

住民基本台帳から 18 歳以上の市民 1,800 人を無作為に抽出し、城陽未来まちづくり会議への参加依頼書を送付しました。あわせて会議についてのアンケート調査を実施しました。

（２）参加募集の人数

参加募集の人数は 55 人です。城陽市（以下、「本市」）が京都と奈良のほぼ中間に位置し、古くから「五里五里の里」と呼ばれることにちなんで、55 人としました。

（３）参加者の決定

参加依頼の結果、53 人から参加承諾をいただき、参加者として決定しました。参加決定した 53 人のうち、当日は 46 人が参加されました。

（４）参加者の属性

（単位：人）

	久津川	古川	寺田	寺田南	寺田西	深谷	久世	今池	富野	青谷	合計
10～20歳代	0	1	1	0	2	3	0	2	1	1	11
30歳代	2	0	4	1	1	0	3	0	3	0	14
40歳代	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	3
50歳代	0	1	2	0	1	0	2	0	0	0	6
60歳代	0	0	1	0	0	1	1	1	2	0	6
70歳代	1	0	0	0	0	2	1	0	0	0	4
80歳以上	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
合計	4	2	9	1	5	6	8	3	7	1	46

１－３　城陽未来まちづくり会議の概要

テ ー マ：「城陽のどこが好き？きらい?」
開 催 日：令和６年（2024 年）９月７日（土）
　　10：00～12：00、14：00～16：00
　　（同じプログラムを午前の部、午後の部でそれぞれ実施）
開催場所：オンラインにて開催
会議形式：城陽市をより住みたいまちにするためにはどのような政策が望ましいか、また、行政からどのようなサポートがあればよいと考えるかについての事前アンケート結果をもとに、各回とも参加者を４班に分け、班ごとに意見交換を実施
会議内容：班ごとのアイデア出し、意見交換、意見の集約、発表

　なお、インターネット環境がない方については、市役所にお越しいただき、機材を貸し出すとともに、使用方法などのサポートを行い、参加いただきました。

１－４　会議の流れ（午前の部、午後の部とも共通）

前半は、テーマに関する基本的な情報などについて解説したあと、各班においてファシリテーターによる進行のもと、「くらしの中で感じる本市の好きなところ、嫌いなところ」について意見交換を実施しました。

後半は、各班で前半の内容をふまえて、「本市に対して期待する施策や事業など」について話し合ったあと、内容をまとめ、順番に発表を行いました。

１－５　タイムスケジュール

午前の部	午後の部	内容
9：30～ 10：00	13：30～ 14：00	参加者受付（オンライン会議、現地参加者）
10：00～ 10：05	14：00～ 14：05	会議スケジュール確認、進め方について説明
10：05～ 10：10	14：05～ 14：10	事前配布資料について説明
10：10～ 10：20	14：10～ 14：20	班内での自己紹介、グループ発表者の決定
10：20～ 10：40	14：20～ 14：40	グループワーク 「城陽市の好きなところ、嫌いなところ」について意見交換
10：40～ 11：10	14：40～ 15：10	グループワーク 「プラス面をさらに良くする／マイナス面の改善またはプラス面に変えていくには」、「城陽市に対して期待する施策や事業」について意見交換
11：10～ 11：35	15：10～ 15：35	グループワーク 班発表に向けて、各班で出てきた意見や考えをまとめる
11：35～ 11：55	15：35～ 15：55	各班による発表
11：55～ 12：00	15：55～ 16：00	総括、アンケートの説明、閉会挨拶

第２章　議論に向けて

２－１　事前に配布した資料の活用

当日、スムーズな議論や意見交換を行うことができるよう、参加者に「市制施行 50 周年記念　市勢要覧」を事前配布し、「くらしの中で感じる本市の好きなところ、嫌いなところ」、「城陽市に対して期待する施策や事業」について、ご自身の考えを整理する際に活用いただきました。

【午前の部】１班

■くらしの中で感じる本市の好きなところ、嫌いなところ

好きなところについては、自然が多く静かで過ごしやすい、便利な交通網（JR や近鉄、新名神高速道路）、子どもの遊び場がある（公園や文化パルク城陽）、小中学校の給食があるなどの意見がみられました。

一方、嫌いなところについては、車の交通量が多い、城陽さんさんバスの本数が少ない、道路が狭い、公園の駐車料金がかかる、特産物や飲食店の PR が弱い、産婦人科がないなどの意見がみられました。

好きなところ	嫌いなところ
・意外と自然が多い、静かで過ごしやすい。 ・スーパーが絶妙な立地に配置されている。 ・買い物するところに困らない。 ・JR、近鉄が通っているのは便利。 ・高速道路とつながっているのは良いこと。 ・将来的にアウトレットができるのは買い物に便利。 ・五里五里の丘や鴻ノ巣山運動公園がある。 ・文化パルク城陽は無料で入れる施設があり、子どもを連れて行っている。 ・小中学校の給食がある。	・城陽さんさんバスの本数が少ない。 ・国道24号の交通量が多い。道が狭い。 ・通学路に歩道がない。 ・線路沿いの道路などが混む。 ・鴻ノ巣山運動公園の駐車料金がかかる。 ・文化パルク城陽は土日の利用時間が限定される。 ・住んでいるところに街灯が少ない。 ・学校の電話が日中はつながらない。 ・市のメインシンボルが少ない。 ・イチジクや梅など特産物のPRが弱い。 ・飲食店などのPRが弱い。 ・サンガスタジアムが亀岡市にできて以降、市としてサンガタウンのイメージが薄れてきている。 ・ホテルなど観光面で市外から誘客できる場所がない。 ・産婦人科がない。

■城陽市に期待する施策等および発表内容

より良くしてほしいところについては、公園の駐車料金を城陽市民にとってメリットがあるようにする、サンガタウンと市の特産品をコラボさせた PR についての意見がみられました。

改善してほしいところについては、道幅の拡張や歩道の整備、城陽さんさんバスの増便、学校への連絡方法としてのメール活用、産婦人科の誘致についての意見がみられました。

より良くしてほしいところ	改善してほしいところ
・鴻ノ巣山運動公園の駐車料金がかかるので、城陽市民は割引または免除にする。 ・サンガタウンとしてのイメージが薄くなってきていると感じるため、城陽市の特産物（イチジクや梅など）をコラボさせたPRなどを行う。	・道幅の拡張、通学路における歩道の整備。 ・城陽さんさんバスの増便。 ・学校に電話しても日中につながらないことがあるため、メールを活用してほしい。 ・産婦人科の誘致。

.

【午前の部】2 班

■くらしの中で感じる本市の好きなところ、嫌いなところ

好きなところについては、鴻ノ巣山運動公園や文化パルク城陽など子どもの遊び場がある、空気や水がきれいなどの意見がみられました。

一方、嫌いなところについては、車道や歩道が狭い、国道 24 号や近鉄久津川駅周辺の渋滞、JR の本数が少ない JR 城陽駅のバリアフリー化が不十分、身近なところにスーパーやクリニックがない、産婦人科がないなどの意見がみられました。

好きなところ	嫌いなところ
・鴻ノ巣山運動公園や五里五里の丘、ロゴスランドなど子どもがのびのびと遊べる場所がある。 ・文化パルク城陽のプレイルーム。 ・サッカー教室が定期的に開催されているところ。 ・空気と水がきれい。地下水がある。	・国道24号の渋滞がひどい。 ・朝のラッシュ時など、近鉄久津川駅の踏切が長く渋滞する。 ・市街地の道路の幅が狭い。歩道が狭い。 ・道路が凸凹している箇所がある。 ・JR城陽駅の外側にはあるが、改札からホームまでのエレベーターやエスカレーターを設置してほしい。 ・JR城陽駅以南の電車の本数が少なくなる。JR長池駅まで複線化してほしい。 ・産婦人科がない。 ・入院できる病院が少ない。 ・身近なところに行ける小さなスーパーやクリニックがない。 ・イチジクをもっとPRして多くの人に知ってもらい食べてほしい。 ・宅地開発が進み、畑が少なくなっている。 ・自治会が縮小している。 ・城陽市が開催する高齢者が参加できるイベントが少ない。情報発信が少ない。

■城陽市に期待する施策等および発表内容

より良くしてほしいところについては、JOYO 産業まつりなど既存のイベントをもっとPR する、自治会の縮小を受けて地域の人が参加・交流しやすいイベントづくりとの意見がみられました。

改善してほしいところについては、道幅や歩道の拡張、渋滞の緩和、JR の複線化の延伸、JR 城陽駅のバリアフリー化、産婦人科の誘致などの意見がみられました。

より良くしてほしいところ	改善してほしいところ
・既存の施設で継続して開催されているイベント（JOYO産業まつり、TWINKLE JOYO、緑化フェスティバルなど）のPRをもっとしてほしい。 ・自治会が縮小しているので、参加しやすいイベントづくりをしてほしい。イベントをつくってしっかり発信して、誰もが参加できるようにする（イベントの具体的な案としては合唱サークル、イチジクのPRイベントなど）。 イベントは高齢者や子どもが交流できる内容にしてほしい。	・幼稚園が減っている。 ・医療費補助の拡充や給食費の公費負担。 ・車道や歩道が狭い。 ・久津川第5号踏切につながる道の渋滞がひどいので高架化してほしい。 ・JR城陽駅のバリアフリー化（改札からホームまでのエレベーターやエスカレーターの設置） ・JR城陽駅以南（山城青谷駅）を複線化してほしい。 ・産婦人科がない。 ・入院できる病院がきづ川病院しかなく、アクセスも良くない。 ・高齢者が過ごしやすい環境をつくってほしい。 ・野菜や特産物の直売所を残してほしい。

【午前の部】3 班

■くらしの中で感じる本市の好きなところ、嫌いなところ

好きなところについては、静かで自然が近くにある、治安が良い、徒歩や自転車でも生活がしやすい、新名神高速道路やアウトレットの誘致など新しいことへの取り組みなどの意見がみられました。

一方、嫌いなところについては、近鉄久津川駅周辺の渋滞、電車での大阪方面へのアクセスが良くない、飲食店が少ない、市としてのブランドや知名度の不足・PR が足りないなどの意見がみられました。

好きなところ	嫌いなところ
・静かで自然が近くにあるところ。 ・治安が良い。 ・徒歩や自転車でも割と生活しやすい。 ・新名神高速道路、アウトレットなど新しいことにどんどん取り組んでいる。 ・子どもがのびのびと公園で遊ぶことができる。 ・花火大会がある。 ・駅に観光名所の案内板がある。 ・五里ンジャーのキャラクター。	・市内で仕事をするには交通の便が良くない。 ・大阪まで電車1本で行けないのが不便。 ・近鉄久津川駅周辺の道路が狭く渋滞が起きやすい。立体駐車場がない。 ・JRの複線化は、利用する人にとっては便利な一方で、踏切が下がる時間が長くなり不便。 ・お店が少ない。飲み屋などが少ない。 ・ロゴスランドは良い施設なのに、全然知られていない。レジャー施設のPRが足りない。 ・城陽市としてのブランドや知名度がない。 ・教育面の質を高めてほしい。

■城陽市に期待する施策等および発表内容

より良くしてほしいところについては、城陽市としてのブランド力や PR の強化、イチジクなどの特産品が買える情報の発信についての意見がみられました。

改善してほしいところについては、道路の拡張、城陽さんさんバスの増便、近鉄の増便や急行の停車、市内での働く場所の確保、SNS などを活用した情報発信力の強化などの意見がみられました。

より良くしてほしいところ	改善してほしいところ
• レジャー施設のPRが少なく、食べ物に関してもブランド力が弱い。 • 「〇〇のまち城陽」というイメージがない。例えばイチジクが有名であることは知られていても、どこに行ったら買えるのかという情報がない。城陽市民にも、ここに行けば特産品が揃っているという情報があれば良い。	• 場所にもよるが道路が狭い。生活するには問題ないが、城陽市外から来るまたは城陽市外へ行く場合には、車が必要となる。 • 城陽さんさんバスの本数が少ない。近鉄も本数が少ないので、急行を停めてほしい。 • 駅は多いのに、タクシーが少ない。 • 近鉄久津川駅の踏切が降りている時間が長いので、高架にしてほしい。 • 仕事に関しては、地域密着のお店が多く、働く場所が少ない。ハローワークの場所が分かりにくい。 • YouTubeやSNS（Instagramなど）、電車内の広告などを活用した城陽市内外向けの情報発信力の強化（イベント情報や福祉に関する情報など）。 • 明石市などのような子育て支援（補助金等）。

注：氏名が表示されている箇所を色塗りにしている（以下同様）

【午前の部】4 班

■くらしの中で感じる本市の好きなところ、嫌いなところ

好きなところについては、気候が温暖で災害が少ないところや治安の良さ、大阪方面などへの程よい距離感、古墳など歴史を感じる場所があるところなどの意見がみられました。

一方、嫌いなところについては、JR 城陽駅周辺に飲食店が少ない、JR の本数が少ない、近鉄久津川駅に急行が停まらない、城陽さんさんバスが久津川方面に走っていない、歩道が狭いなどの意見がみられました。

好きなところ	嫌いなところ
・どこへ行くにもそれほど遠くない。ちょうど良い田舎。 ・気候が温暖で、異常気象も比較的少ない。 ・小学校、中学校の環境が良い。 ・適度に飲食店がある。 ・子育てがしやすい。 ・古墳など歴史を感じるところがある。 ・大阪方面などで仕事をするのに程よい距離感。	・近鉄の駅前が混雑している。活気がない。 ・JRの本数が少ない。 ・JR城陽駅周辺に飲食店が少ない。 ・近鉄久津川駅に急行を停めてほしい。 ・城陽さんさんバスが久津川方面を走っていない。 ・歩道が狭い、ガードレールがないところがある。 ・街灯が暗い。 ・木津川運動公園は木がないから夏は暑い。公園に行くまでの道を工事の砂ぼこりが舞っていて、車が汚れる。 ・フリーWi-Fiの場所を増やしてほしい。災害が起きた時の情報連絡ができるように準備が必要。

■城陽市に期待する施策等および発表内容

より良くしてほしいところについては、イチジクなどの特産品以外にもPRできるところがあるので活用してほしいとの意見がみられました。

改善してほしいところについては、歩道や街灯の整備、JRや近鉄の増便、城陽さんさんバスの路線拡大、JR城陽駅周辺に飲食店がほしいなどの意見がみられました。

より良くしてほしいところ	改善してほしいところ
・PRするものがイチジクなどの特産物だけでは、知名度はなかなか上がらないと思われるので、他にもPRできるところがあるので活用する（有名なラーメン店など）。	・歩道が狭い、ガードレールがない。 ・街灯が暗い。 ・城陽さんさんバスのルートが限られており、本数も少ないので、高齢者の交通手段、通勤・通学や遊びに行くのにも不便。 ・近鉄電車の本数が少ない。近鉄久津川駅に急行を停めてほしい。 ・JR城陽駅前に飲食店が少ない。

【午後の部】１班

■くらしの中で感じる本市の好きなところ、嫌いなところ

好きなところについては、静かで住みやすい、京都市や奈良、滋賀方面へのアクセスが良い、文化パルク城陽にプレイルームや図書館があることなどの意見がみられました。

一方、嫌いなところについては、道が狭い、歩道と車道との境目に段差がある、急行が停まる近鉄の駅がない、城陽さんさんバスの本数が少ない、産婦人科がないなどの意見がみられました。

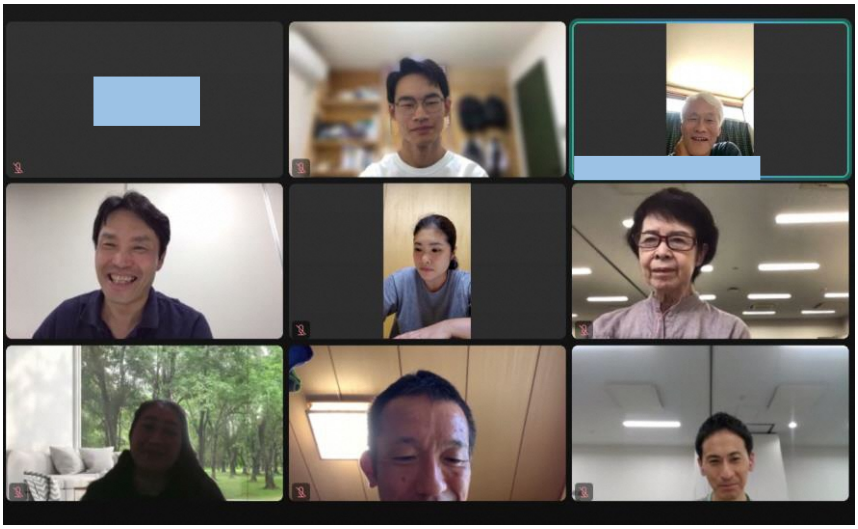
好きなところ	嫌いなところ
・静かで住みやすい。 ・近くにコンビニやスーパーがあり、堤防に行くと綺麗な桜があり山並みが見えるなど、都会過ぎないところ。 ・京都市、奈良県、滋賀方面などへ車で行きやすい。新名神高速道路ができれば大阪方面へのアクセスも良くなる。 ・子どもの医療が月額上限200円で受診できるのは良い。 ・老人介護施設のレジャーに使える場所があるのは良い。 ・古墳がたくさんある。 ・文化パルク城陽にプレイルームや図書館もあるところ。他の市町村の住民も利用できるところ。	・住んでいるところ（山手）によっては、大きなスーパーがなく、アクセス面で不便。 ・市内を移動するとき危険なところがある。南城陽中学校のあたりが、歩道と車道の区別がついていない。道も狭いので整備してほしい。 ・歩道と車道の境目に段差がある。ベビーカーを押しにくい。 ・買い物に行くときに、大きな施設がアル・プラザ城陽しかない。 ・市内に近鉄の急行が停まる駅がない。 ・学校帰りに遊べる大きい公園やバスケットボールができるような場所が少ない。ボーリング場がない。 ・公園の整備状況によっては、小さい子どもを遊ばせるには危ないところがある。 ・居酒屋が少ない ・産婦人科がない。 ・大規模の病院が宇治市まで行かないとない。中規模の医療施設がほしい。 ・城陽さんさんバスの本数が少ない。 ・空き家が増えてきている。 ・イチジクや梅農家の後継者問題。 ・人を呼び込める大きなお祭りがない。 ・コインパーキングが少ない。 ・文化パルク城陽の駐車場の無料時間が短い。

■城陽市に期待する施策等および発表内容

より良くしてほしいところについては、駐車料金を安くするなど城陽市民であるメリットを充実させてほしい、地域資源の PR についての意見がみられました。

改善してほしいところについては、道が狭い、中規模の公園の設置、中規模のスーパーや病院、産婦人科の誘致などの意見がみられました。

より良くしてほしいところ	改善してほしいところ
・高齢者施設が充実しているが、子ども向けの施設は改善してほしい。 ・子育て支援として、城陽市民であるメリットを充実させてほしい（駐車料金や各施設の割引）。 ・イチジクや梅、古墳などの地域資源をもっとアピールしてほしい。 観光客にたくさん来てもらいたいが、静かな住宅地としての良さが打ち消されないようバランスを意識してほしい。	・市内は道が狭く、危険を感じるところがある。 ・産婦人科の誘致。 ・城陽五里五里の丘や鴻ノ巣山運動公園よりも小さくて良いので中規模公園を充実させてほしい。 ・中規模のスーパーや病院を誘致してほしい。



【午後の部】2 班

■くらしの中で感じる本市の好きなところ、嫌いなところ

好きなところについては、都会でも田舎でもなく住みやすい、京都市や奈良方面へのアクセス、道路網・鉄道網に恵まれているなどの意見がみられました。

一方、嫌いなところについては、道路が渋滞しやすい、道路が狭い、災害時の避難ルートが分かりにくい、子ども（幼稚園～小学生）の遊べる広い場所が少ない、夜間に受診できる病院や産婦人科がないなどの意見がみられました。

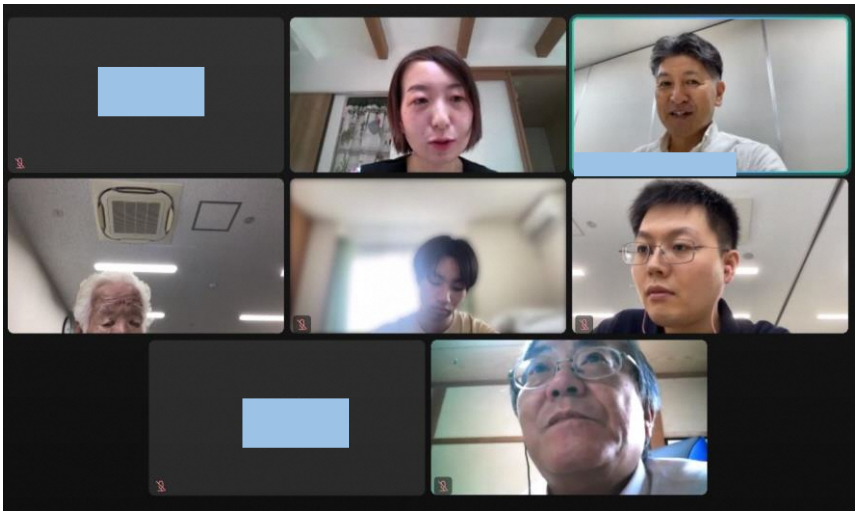
好きなところ	嫌いなところ
・都会でも田舎でもないところが住みやすい。 ・京都市や奈良方面に行きやすい。 ・道路網とJR、近鉄の鉄道網に恵まれている。 ・中学校まで給食があるところ。 ・買い物が便利。 ・緑が多く、閑静な住宅街。	・人口が減少し、活気がなくなってきている。 ・車での移動が多いので渋滞になりやすい。 ・東西と南北の幹線道路を整備してほしい。 ・昔からの道路が狭い。歩道と車道の境目が分かりにくい。 ・JRは複線化したが、山城青谷駅を利用する人にとっては本数が増えておらず、恩恵を受けていない。 ・災害時にどこに避難したら良いか、避難ルートが分かりにくい。 ・子どもの遊ぶ場所が少ない。ひなたぼっこは未就学児限定なので、幼稚園児や小学生が遊べる広い場所がない。 ・特産品も含めて城陽市に住みたい、訪れたいと思えるようなPRが少ない。 ・産婦人科がない。 ・夜間や緊急時に受診できる病院がない。 ・すべての買い物を完結できる場所がない。アル・プラザ城陽が21時までしか営業していない。 ・アカチャンホンポや西松屋、スターバックスがない。

■城陽市に期待する施策等および発表内容

より良くしてほしいところについては、イベントを活用して市外から人を呼び込む、新名神高速道路のメリットを PR した企業誘致についての意見がみられました。

改善してほしいところについては、JR の複線化（山城青谷駅以南）、城陽さんさんバスの増便や路線拡大、子育て施策の充実、夜間に受診できる病院や産婦人科の誘致などの意見がみられました。

より良くしてほしいところ	改善してほしいところ
・魅力的なイベントもあるので、他のイベントと合わせて、もっと活気を出していく。市外から人を呼び込む。 ・新名神高速道路のメリットをもっとPRして、企業誘致などにつなげる。	・駅前に活気がない。 ・JRの複線化による恩恵を一部の利用者は受けられていない。 ・子育て施策（通学費の無償化など）を充実してほしい。 ・城陽さんさんバスの路線や本数を増やしてほしい。 ・城陽市のYouTubeの更新頻度が少ない。 ・夜間や緊急時に受診できる医療機関の誘致。 ・産婦人科の誘致。



【午後の部】3 班

■くらしの中で感じる本市の好きなところ、嫌いなところ

好きなところについては、自然が近い、京都市や大阪方面、奈良方面へのアクセス、便利な鉄道網やバスが走っていること、災害が少ないなどの意見がみられました。

一方、嫌いなところについては、道路が狭く渋滞しやすい、働く場所が少なく賃金が低い、近鉄に急行が停まらない、イズミヤが閉店した影響で久津川地域で買い物に困る人が増えたなどの意見がみられました。

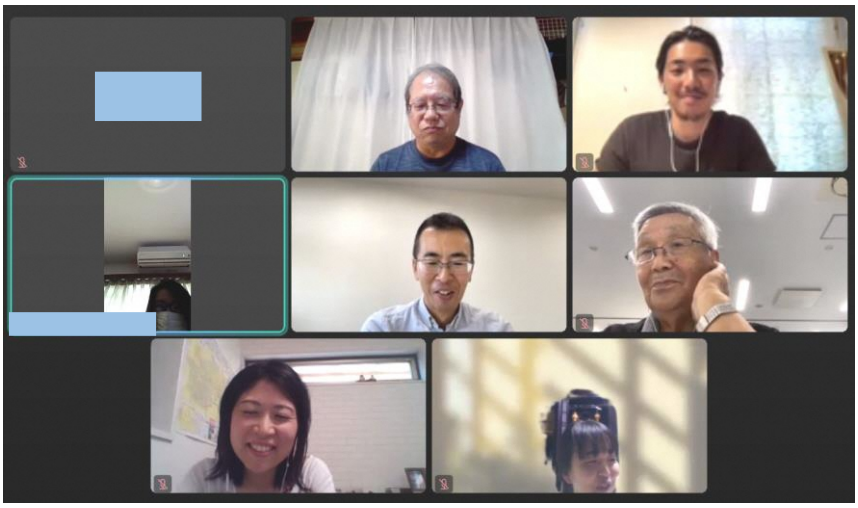
好きなところ	嫌いなところ
・自然が近くにあるが田舎すぎず、市街地にも近いところ。 ・京都市や奈良や大阪方面へのアクセスが良い。 ・近鉄線とJRが通っている。城陽さんさんバスが走っている。 ・子どもの遊び場所が結構多い。 ・イベントも積極的に開催されているところ。 ・イチジクが美味しい。 ・古墳が多いところ。 ・大きな災害がない。	・JRや近鉄が通っている割には、あまり栄えていない。 ・道路が狭く、渋滞しやすい。 ・働く場所が少なく、賃金も低い。 ・小児科が交通の便の良いところにない。 ・近鉄の急行が市内の駅に停まらない。 ・高齢化が進み、空き家が増えている。 ・イズミヤが閉店し、久津川地域は買い物に困る人が増えた。

■城陽市に期待する施策等および発表内容

より良くしてほしいところについては、自然を活かした子どもの遊び場の整備についての意見がみられました。

改善してほしいところについては、道路の拡幅、企業誘致による働き口の確保、空き家を活用した子どもの遊び場や高齢者が集まる施設の整備、起業者支援などの意見がみられました。

より良くしてほしいところ	改善してほしいところ
・自然がたくさんあることを活かす。子どもが遊びやすい公園や場所を整備したり、自然と触れられる場所をつくってほしい。	・道路が狭いので、もう少し広くして高齢者や子どもの安全を守ってほしい。 ・働き口が少ないので、商売しやすい環境づくり、チェーン店や大企業を誘致してほしい。 ・空き家が多いので、子どもの遊び場や高齢者が集まる施設や起業者支援等で活用してほしい。



【午後の部】4 班

■くらしの中で感じる本市の好きなところ、嫌いなところ

好きなところについては、京都市や奈良方面へのアクセス、鴻ノ巣山運動公園や文化パルク城陽など子どもが遊んだり出かけたりできる場所がある、地下水が美味しいなどの意見がみられました。

一方、嫌いなところについては、働ける場所が少ない、産婦人科がない、地域間での学校の成績評価のばらつき、自習スペースが少ないなどの意見がみられました。

好きなところ	嫌いなところ
・京都市や奈良方面に行きやすい。 ・鴻ノ巣山運動公園や城陽五里五里の丘、ロゴスランド、文化パルク城陽など子どもが遊んだり、休日に出かけたりできる場所がある。 ・コミュニティセンターが多い。 ・地下水が美味しい。 ・城陽市男女共同参画支援センターぱれっとJOYOがある。	・市内で働ける場所が少ない。 ・学校の成績評価が地域によってばらつきがある。 ・産婦人科がない。 ・地域によっては買い物に行くための交通手段がない。 ・久津川小学校の体育館が暑い。 ・自習スペースが少ない。 ・部活動の顧問への指導が行き届いていない。 ・ごみの不法投棄や犬の糞をそのままにする人がいる。

■城陽市に期待する施策等および発表内容

より良くしてほしいところについては、自習スペースや小学校高学年から大学生が集まれるユース施設、サードプレイス（自宅や職場以外で過ごせる場所）をつくるなどの意見がみられました。

改善してほしいところについては、働き口確保に向けた企業誘致、産婦人科の誘致、移住者を増やすための広報強化などの意見がみられました。

より良くしてほしいところ	改善してほしいところ
・自習スペースや小学校高学年～大学生が集まれるユース施設、サードプレイスをつくってほしい。	・働き口の確保としての企業誘致、子育てに理解のある企業の誘致。 ・地域によって学力格差がある。 ・教育現場の実態把握とフォロー。 ・産婦人科の誘致。 ・移住者を増やすための広報の強化。

第４章　まとめ

４－１　意見結果

午前・午後あわせて計８班で「城陽のどこが好き?きらい?」に向けた活発な議論がなされ、主に次の８つの分野で意見がありました。

（1）安心・安全な環境整備

本市は歩道や道路が狭い道が多く歩行者や自転車が安心・安全に移動できない、道路が混雑するといった課題があります。道路や歩道の整備（道路幅の拡幅、ガードレールや街灯の設置、歩道の凹凸の改善など）、公園や遊び場の充実など、安心・安全に通学や移動ができるまちづくりに期待する声がありました。

（2）公共交通機関等の交通環境の充実、新名神高速道路の整備

新名神高速道路や鉄道網が充実しているとの意見がみられた一方、城陽さんさんバスの増便や路線拡大、JR 城陽駅のバリアフリー化、城陽駅以南の複線化、市内近鉄駅における急行の停車などについて期待する声がありました。

（3）新たな雇用創出の推進

本市内は働ける場所が少ない・賃金が低い、駅前に飲食店が少ない・活気がないとの意見があり、新名神高速道路が通っているポテンシャルを活かした企業誘致（子育てに理解のある企業等）に期待する声がありました。

（4）農業振興、観光振興

特産物（イチジクや梅）については宅地開発に伴う畑の減少、後継者問題などの意見がみられたほか、レジャー施設や花火大会、古墳、ラーメン店など本市としてのブランドを築くため、地域資源の有効活用に期待する声がありました。

（5）まちの魅力の情報発信・対外的 PR の推進

市としてのブランド力が弱い（サンガタウンのある市としてのイメージが薄れているなど）の意見がみられました。京都サンガ F.C.や特産物（イチジクや梅）とのコラボのほか、イベント・福祉情報などについての YouTube や SNS などを活用した情報発信力強化を期待する声がありました。

（6）子育て施策・高齢者向け施策の充実

鴻ノ巣山運動公園など子どもが遊べる施設がある、子どもの月額医療費に上限があることなどの好意的意見がある一方で、身近なところで遊べる公園の整備や公園などの駐車料金における市民のメリット（割引など）・高齢者が参加できるイベントの充実、空き家を活用した施設整備などを期待する声がありました。

（7）出産・医療環境の充実

産婦人科の誘致を期待する声が多かったほか、夜間・緊急時に子どもが受診できる医療体制、身近に行けるクリニックや中規模の病院の誘致を望む声がありました。

（8）教育環境の充実

保護者の学校との連絡手段におけるメールの導入、自習スペースやユース施設の整備、教育現場の実態把握とフォローを期待する声がありました。

４－２　総括

本会議において、本市の好きなところとしては、温暖な気候で災害が少ないことや自然が多く静かであること、鉄道や高速道路といった交通網が充実しており多方面へのアクセスが便利なことなどが挙がりました。豊富な自然という田舎の魅力と、交通網の充実などの都会の魅力。それらを兼ね備え田舎と都会の良いとこどりをしたような、暮らしやすいまちであるということに好意的な印象を持たれています。

一方で「城陽市をより住みたいまちにするために、本市に期待する施策」として、道路や歩道の整備、鉄道やバスなどの公共交通の整備・拡充、企業誘致、産婦人科や中規模の病院の誘致、夜間・緊急時に診療可能な医療体制、市としてのブランドの構築や情報発信力の強化など、様々な意見がみられました。

その中には、市の方向性と一致するものもありました。市では、新名神高速道路開通を活かしたまちの活性化・産業振興による雇用・交流人口の拡大をはじめ、「市民が主役のみちづくり事業」による生活道路の整備や市有地への産科の誘致に向けた取組などを進めています。会議で出された意見と方向性が一致している施策が多くあることは歓迎すべきと考えられます。そして今後は、これらの施策をより効果的に推進するとともに、本市内外に向けてさらなる周知に努めることが求められます。

本市においては、交流人口を定着化につなげ、地方創生の取組を加速化・深化させるため、第３次「山背（やましろ）五里五里のまち　創生総合戦略」の策定に向けて取組を進めており、本会議の参加者からいただいた意見や提案も参考にさせていただき、市として取り組むべきものについては、すでに実施している施策との整合性を図りながら、今後の計画や施策への反映について検討してまいります。

５－１　事前配布資料

出所：城陽市「市制施行 50 周年　記念市勢要覧」を基に作成。

50周年を迎えた城陽市

50th anniversary

城陽市は令和4年5月3日に
市制施行50周年を迎えました

昭和47年5月3日　城陽市制開始当時

城陽市は、本日５月３日で市制施行 50 周年!!

目次

- 50周年を迎えた城陽市 P.3
- 市長あいさつ P.4
- 未来へのプロジェクト P.5
- これからのアクセスとまちの変化 P.7
- 季節のイベント P.9
- #ぶらり城陽マップ P.13
- レジャー・文化施設 P.15
- 特産物・地場産業 P.17
- 史跡・重要文化財 P.19
- 市議会 P.21
- 姉妹都市 P.22
- 城陽市の概要 P.23
- 城陽市50年の歩み P.25

市長あいさつ

城陽市長 奥田 敏晴

Create "New Joyo"

Toshiharu Okuda, Mayor of Joyo City

Joyo city was established on May 3rd, 1972 as the eighth city in Kyoto prefecture and is celebrating its 50th anniversary this year.
It is my great pleasure to celebrate this special occasion with the citizens of Joyo. I would like to express my deepest respect and gratitude to all those who helped shape our history and contributed to the development of our city.
Joyo is taking a great leap forward into the future with a number of large-scale projects inspired by the construction of the Shin-Meishin Expressway. I will do my best to uphold our history and tradition and at the same time establish "New Joyo", a place where individuals may realize their hopes and unique abilities.
As we set city's future in a slogan "Joyo: A green city that nurtures its people by connecting the past and future", my administration will promote developing our potential to nourish vibrant activities.
Thank you for your understanding and cooperation.

新たな城陽
「NEW 城陽」の実現へ

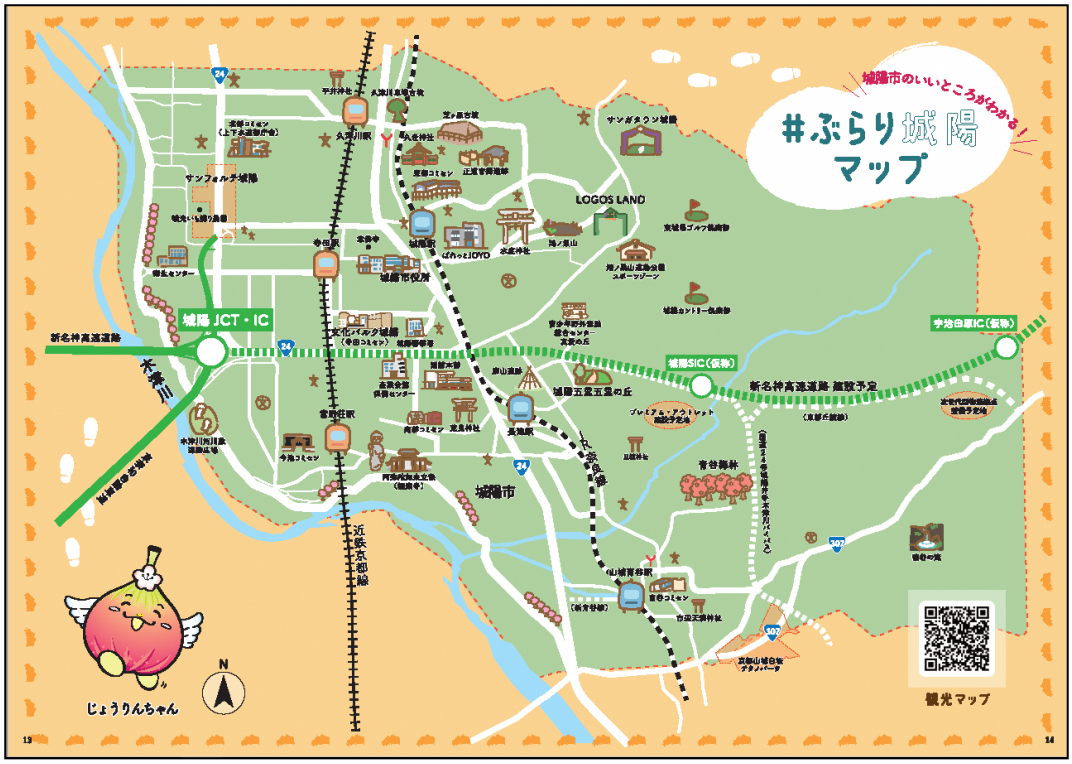
昭和47年に京都府下で8番目の市として誕生した城陽市は、令和4年5月3日に市制施行50周年を迎えました。この大きな節目を市民のみなさまと共に迎えられることに大きな喜びを感じておりますとともに、本市の発展にご尽力いただき、これまでの歴史を築いてこられた先人のみなさまに、心より敬意と感謝を申し上げます。

さて、本市におきましては、新名神高速道路の開通を契機とした大規模なプロジェクトが進行し、まちづくりの転換期を迎え、未来に向かって大きく躍動しようとしております。この歩みを止めることなく、先人が築かれた今日までの歴史と伝統を礎に、この先の未来へとつながる、希望あふれ、誰もが輝く新たな城陽「NEW城陽」の実現に向けて、全力を傾注してまいります。

「歴史と未来をつなぎ、人をはぐくむ緑のまち・城陽」を将来像とし、本市の魅力を高め、そして生かしながら、活力あるまちづくりを市民のみなさまと共に進めてまいる所存でございますので、今後とも市政の推進にご理解とご協力をお願い申し上げます。

出所：城陽市「市制施行 50 周年　記念市勢要覧」を基に作成。

出所：城陽市「市制施行 50 周年　記念市勢要覧」を基に作成。



出所：城陽市「市制施行 50 周年　記念市勢要覧」を基に作成。

出所：城陽市「市制施行 50 周年　記念市勢要覧」を基に作成。

出所：城陽市「市制施行 50 周年　記念市勢要覧」を基に作成。

城陽市の概要

市章

城陽市は、山城盆地の中央部、京都と奈良のほぼ中間に位置し、京都から五里、奈良から五里の位置にあることから「五里五里のさと」と呼ばれています。西には木津川が流れ、東には広大な丘陵地を有するなど、変化に富んだ地形をしており、温暖で暮らしやすい気候が特徴です。

Joyo City is located in the center of the Yamashiro Basin and is well-known for being roughly halfway between Kyoto and Nara.
It has many topographical features, including the Kizugawa River in the west and rolling hills in the east as well as a pleasant and mild climate.

市の木 「梅」

南部丘陵地に広がる青谷の梅林では、春になると一面に漂うかぐわしい香りが、私たちの心を和ませてくれます。

市の花 「花しょうぶ」

豊かな地下水に恵まれ、古くから栽培されている花しょうぶ。京阪神随一の生産高を誇り、多くの人に親しまれています。

市の鳥 「しらさぎ」

本市の歴史や文化に非常に関わりの深い鳥『しらさぎ』の存在は、環境保全や自然と人との共生を実現するシンボルです。

城陽市歌

昭和34年2月15日 制定

1 梅かおる 山辺に野辺に 茶の緑 ほのかに
萌ゆる もろびとの 心のすみか 美しき
われらのまちよ 光あれ 光あれ 光あれ
城陽 美しきまち

2 松あおき 鴻の巣山に 鳥啼きて 明るき
陽ざし こだまする 槌のひびきに ひらけゆく
われらのまちよ 栄あれ 栄あれ 栄あれ
城陽 ひらけゆくまち

3 砂しろき 木津の流れに 黄金なす 稲穂の
みのり 山の幸 野の幸さわに ゆたかなる
われらのまちよ 恵あれ 恵あれ 恵あれ
城陽 ゆたかなるまち

城陽市平和都市宣言

昭和61年12月23日 宣言

世界の恒久平和と安全は、人類共通の願いであり、核兵器の廃絶と軍備の縮小は、全人類ひとしく希求しているところである。
わが国は、唯一の被爆国として、非核三原則の堅持はもとより、再び戦争による惨禍を繰り返してはならない。
国際平和年にあたり、わが城陽市は、憲法の精神に基づいて自由と平和を愛し、思想・信条を越えて、永遠の平和都市であることをここに宣言する。

城陽市民憲章

昭和57年11月7日 制定

かぐわしい梅の香りと清らかな水のわがふるさとを愛し、先人の遺した文化を育み、平和でかがやかしい城陽の未来を創造するために

わたくしたち城陽市民は

1 自然を生かし 美しい緑を育てましょう
1 教養を深め 豊かな文化をつくりましょう
1 心身を鍛え 働く喜びを大切にしましょう
1 隣人を愛し ふれあいの輪を広げましょう
1 秩序を守り やすらぎのまちを築きましょう

城陽市高齢者憲章

平成5年10月17日 制定

「緑と太陽・やすらぎのまち、城陽」を都市像とする私たちのまち城陽市は、長きにわたって国づくり、地域づくりに貢献された高齢者が尊敬され健康で生きがいを持って生活できる豊かな社会をめざして、この憲章を制定します。

1 私たち城陽市民は、高齢者が家庭や地域でやすらぎとうるおいに満ちた健康な生活をおくれるよう努めます。
1 私たち城陽市民は、高齢者が生きがいを大切にし、世代間で互いに支え合う地域づくりに努めます。
1 私たち城陽市民は、高齢者の知恵と経験を尊重し、新しいまちづくりにそれを活かすよう努めます。
1 私たち城陽市の高齢者は、気力と体力を養い、みずからの健康を守り、これによろこびをみいだす生活をおくります。
1 私たち城陽市の高齢者は、いつまでも学ぶ心を失わず社会を考え、世界に関心を持ち豊かに生きるよう努めます。
1 私たち城陽市の高齢者は、地域活動に参加し、自らの能力を社会に役立て、ともに住みよい社会をつくります。

城陽市50年の歩み

1951年 (昭和26年)
- 4月 久津川村・寺田村・富野荘村・青谷村が合併し「城陽町」が誕生

1959年 (昭和34年)
- 2月 町歌を制定(市制施行に伴い市歌に)

1972年 (昭和47年)
- 5月 府下で8番目の市として5月3日に市制施行
- 10月 市の木「梅」を制定

1978年 (昭和53年)
- 3月 消防青谷出張所を開所

1982年 (昭和57年)
- 5月 市制施行10周年
- 11月 市民憲章・市の花「花しょうぶ」を制定

1984年 (昭和59年)
- 5月 保健センター・休日急病診療所・産業会館を開設

1985年 (昭和60年)
- 5月 総合運動公園オープン

1986年 (昭和61年)
- 11月 市民体育館を開館

1988年 (昭和63年)
- 10月 第43回国民体育大会の「柔道競技」を開催
- 京奈和自動車道「城陽—田辺間」が開通

1990年 (平成2年)
- 4月 新消防庁舎完成・消防緊急システムを稼働

1991年 (平成3年)
- 1月 大韓民国慶山市と姉妹都市盟約を締結

1992年 (平成4年)
- 5月 市制施行20周年

1993年 (平成5年)
- 10月 高齢者憲章を制定

1995年 (平成7年)
- 10月 アメリカ合衆国ワシントン州バンクーバー市と姉妹都市盟約を締結
- 11月 文化パルク城陽を開館

2002年 (平成14年)
- 5月 市制施行30周年

2005年 (平成17年)
- 4月 久津川消防分署を開設

2006年 (平成18年)
- 4月 男女共同参画支援センター「ぱれっとJOYO」を開設

2007年 (平成19年)
- 11月 市の鳥「しらさぎ」を制定

2011年 (平成23年)
- 10月 第26回国民文化祭京都2011を開催

2012年 (平成24年)
- 4月 新名神高速道路「大津—城陽間」事業開始
- 5月 市制施行40周年
- JR長池駅の自由通路と橋上駅舎が完成
- 10月 鳥取県三朝町と姉妹都市盟約を締結

2013年 (平成25年)
- 4月 青谷消防分署を移転新築
- 8月 寺田西保育園・枇杷庄保育園を統合した今池保育園開設
- 12月 城陽イメージキャラクター「じょうりんちゃん」誕生
- 久世荒内・寺田塚本地区土地区画整理事業の事業計画決定
- 暴力団排除条例制定

2014年 (平成26年)
- 3月 史跡芝ヶ原古墳整備工事完了、全面開園

2015年 (平成27年)
- 3月 全小中学校の耐震化が完了
- 手で輪を広げる手話言語条例制定
- 4月 上津屋地区の木津川堤外地の茶畑が構成資産となる「日本茶800年の歴史散歩」が日本遺産認定
- 8月 府・関西・全国の茶品評会てん茶の部で城陽市が産地賞を獲得、初の3冠達成
- 12月 地域子育て支援センター「ひなたぼっこ」を開設
- 「山背五里五里のまち 創生総合戦略」を策定

2016年 (平成28年)
- 3月 近鉄久津川駅のバリアフリー化整備事業が完了
- 5月 東部丘陵地先行整備長池地区・青谷地区を市街化区域に編入
- 7月 病児保育開始

2017年 (平成29年)
- 2月 久世荒内・寺田塚本地区への全ての進出企業が決定
- 3月 第4次城陽市総合計画を策定
- 4月 お茶の京都博開幕
- 新名神高速道路「城陽—八幡京田辺間」が開通
- 8月 城陽スマートIC(仮称)連結許可
- 都市計画道路塚本深谷線が開通
- 10月 子育て世代包括支援センター「すくすく親子サポートカウンター」を開設
- 市庁舎西庁舎が完成

2018年 (平成30年)
- 3月 都市計画マスタープランを策定
- 近鉄富野荘駅のバリアフリー化整備事業が完了
- 6月 ロゴスランドがプレオープン
- 7月 「城陽市防災ブック」の全戸配布を実施
- 12月 消防本部本署はしご車を30m先端屈折はしご車へ更新配置

2019年 (平成31年/令和元年)
- 1月 城陽警察署と「城陽 安全・安心まちづくり協定」を締結
- 3月 オール城陽で進める1×2×3推進プラン ～6次産業化と農商工連携による新たな展開～を策定
- サンフォルテ城陽まちびらき
- 近鉄寺田駅のバリアフリー化整備事業が完了
- 6月 ロゴスランドがグランドオープン
- 8月 「京都城陽イチジクフェスタ」を開催
- 12月 城陽市産業支援サイト「JoinT」を公開

2020年 (令和2年)
- 2月 三菱地所・サイモン株式会社と城陽市東部丘陵地まちづくり条例に基づく「大規模開発基本構想に係る協定」を締結
- 3月 第2次「山背五里五里のまち 創生総合戦略」を策定
- 4月 新消防庁舎の運用を開始
- 10月 小中学校に児童生徒1人1台のタブレット端末を整備

2021年 (令和3年)
- 2月 庁舎耐震補強等整備事業が完了
- 3月 城陽東部開発有限責任事業組合及び伊藤忠商事株式会社と城陽市東部丘陵地まちづくり条例に基づく「大規模開発基本構想に係る協定」を締結
- 4月 同報系防災行政無線の運用を開始
- 8月 寺田駅西側駅前広場の暫定工事が完成
- 11月 市公式LINEアカウントの運用を開始
- 「2050カーボンニュートラル」に挑戦することを宣言

2022年 (令和4年)
- 3月 第4次城陽市総合計画後期基本計画を策定
- 6月 古川改修河川内工事が完成
- 7月 JR山城青谷駅の自由通路と橋上駅舎が完成
- 11月 市制施行50周年記念式典を開催

出所：城陽市「市制施行50周年　記念市勢要覧」を基に作成。

５－２　事前アンケート結果

（１）調査の目的

「城陽未来まちづくり会議（55 人委員会）」は、１ つのテーマについて交流と対話を行い、その意見を市民の声として行政への提案につなげ、また交流の場を通じて地域社会のつながり（コミュニティ）を高めることを目的に開催しました。

このアンケート調査は、城陽未来まちづくり会議を実りあるものとしていくため、無作為に抽出した市民 1,800 人を対象に、会議への参加依頼書とともにアンケート用紙を郵送し、調査を実施しました。

（２）調査の概要

調査地域：城陽市全域

調査対象：城陽市在住の 18 歳以上の個人から無作為で 1,800 人を抽出
（令和６年（2024 年）７月１日現在）

調査方法：郵送法（郵送配布―郵送回収）

調査時期：令和６年（2024 年）８月

回収数：323 件（回収率 17.9%）

※集計結果はすべて、小数点第２位を四捨五入しており、比率の合計が 100.0%にならないことがあります。

城陽未来まちづくり会議　対象者アンケート　※参加を承諾されなかった方もご回答ください

こちらのアンケートは、別紙の参加承諾書とともに
添付の返信用封筒に同封のうえ、8月7日（水）までにポストに投函してください

Q1．お住いの小学校区を選んでください
※当てはまる項目の□を塗りつぶしてください
□ 久津川　□ 古川　□ 久世　□ 深谷
□ 寺田　□ 寺田南　□ 寺田西　□ 今池
□ 富野　□ 青谷

Q2．あなたの年齢層を選んでください
※当てはまる項目の□を塗りつぶしてください
□ 10～20歳代　□ 30歳代　□ 40歳代
□ 50歳代　□ 60歳代　□ 70歳代
□ 80歳以上

Q3．あなたは城陽未来まちづくり会議への参加を承諾しましたか
※当てはまる項目の□を塗りつぶしてください
□ 承諾した　□ 承諾していない

【Q３】で「承諾していない」を選んだ方

Q3-1．承諾しなかった理由は何ですか？
※当てはまる項目の□を塗りつぶしてください。複数回答可
□ 日程の都合が合わなかった
□ 拘束時間が長い
□ テーマに興味がなかった
□ 会議そのものに関心がわかなかった
□ 謝礼が少ない
□ 心身の不調のため
□ その他（　　）

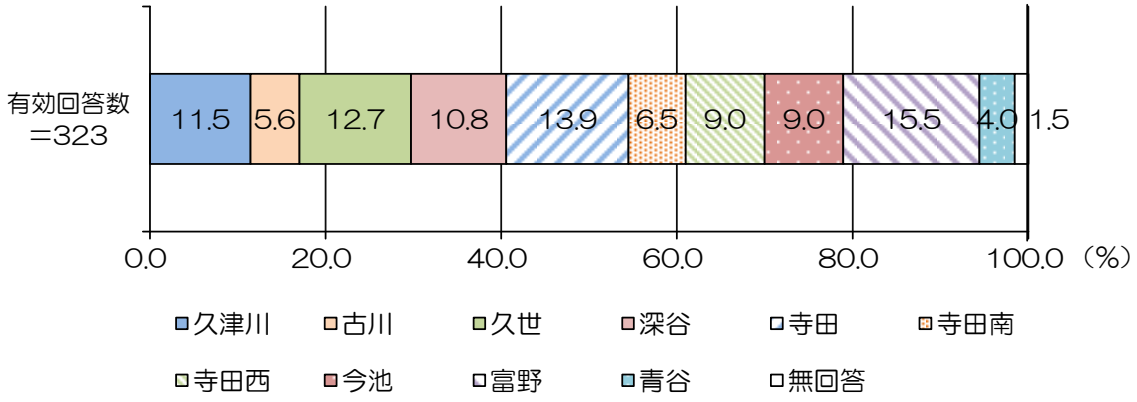
Q4．今後、城陽未来まちづくり会議で扱ってほしいテーマはありますか
※当てはまる項目の□を塗りつぶしてください。複数回答可
□ 観光　□ 商工　□ 農業
□ 市民活動　□ 教育　□ 子育て
□ 高齢者・障がい者福祉　□ 医療　□ 自然
□ 環境　□ 都市計画　□ 道路・交通
□ 防犯・防災　□ 歴史・文化財
□ その他（　　）

Q5．城陽市をより住みたいまちにするには、どのような政策が望ましいと思いますか。また、行政からどのようなサポートがあればよいと考えますか
※当てはまる項目の□を塗りつぶしてください。複数回答可
□ 出産・子育て環境の充実
□ 教育環境の充実
□ 新名神高速道路の整備、東部丘陵地の利用促進
□ 農業や地場産業の振興
□ 新たな雇用創出の推進
□ 宅地開発
□ 安心・安全な環境整備
□ 公共交通機関等の交通網の充実
□ 観光振興
□ まちの魅力の情報発信・対外的PRの推進
□ 高齢者福祉施策の充実
□ 特にない
□ わからない
□ その他（　　）

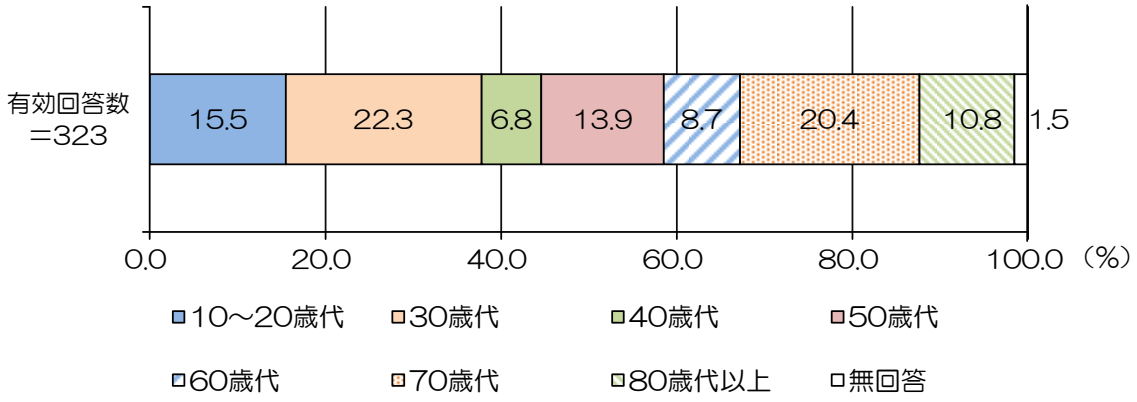
Q6．【Q５】で選択した項目で、具体的に何に取り組めば良いと考えますか。自由にご記入ください

Q7．その他、ご意見などありましたら、自由にご記入ください

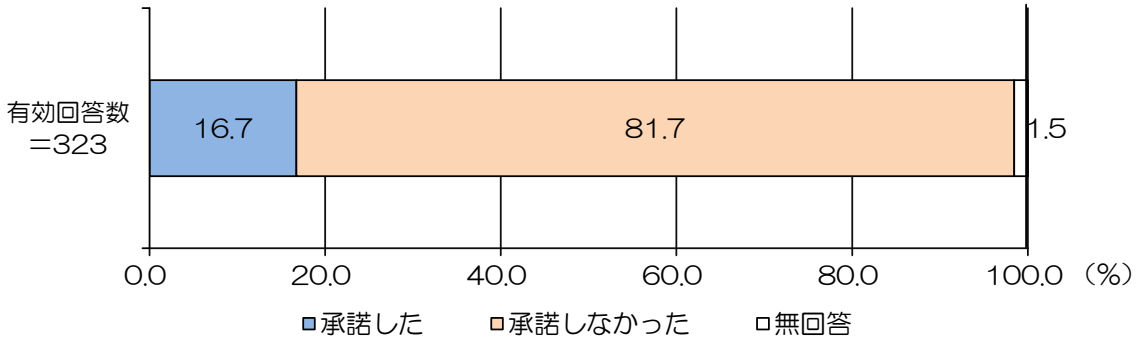
質問１　お住まいの小学校区を選んでください。



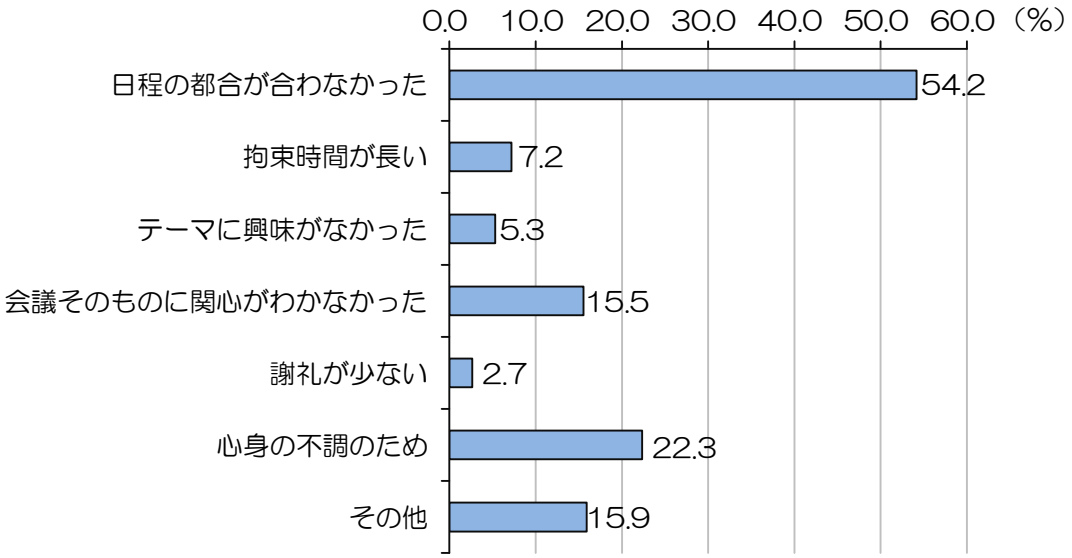
質問２　年齢層を選んでください。



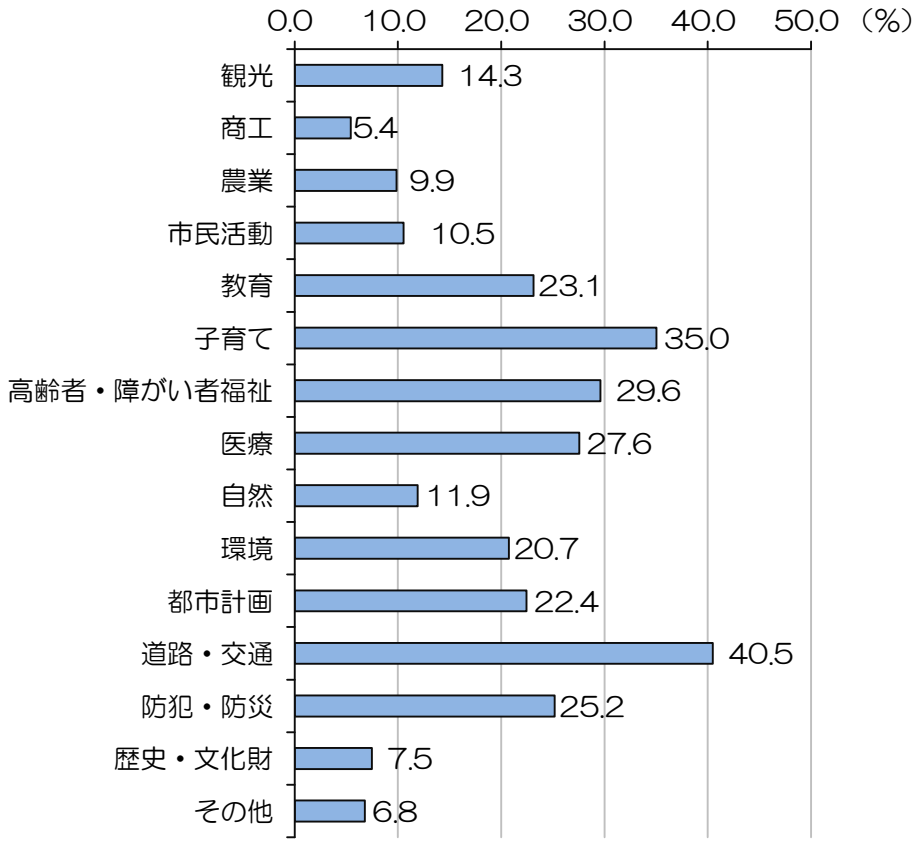
質問 3-1　城陽未来まちづくり会議への参加を承諾しましたか



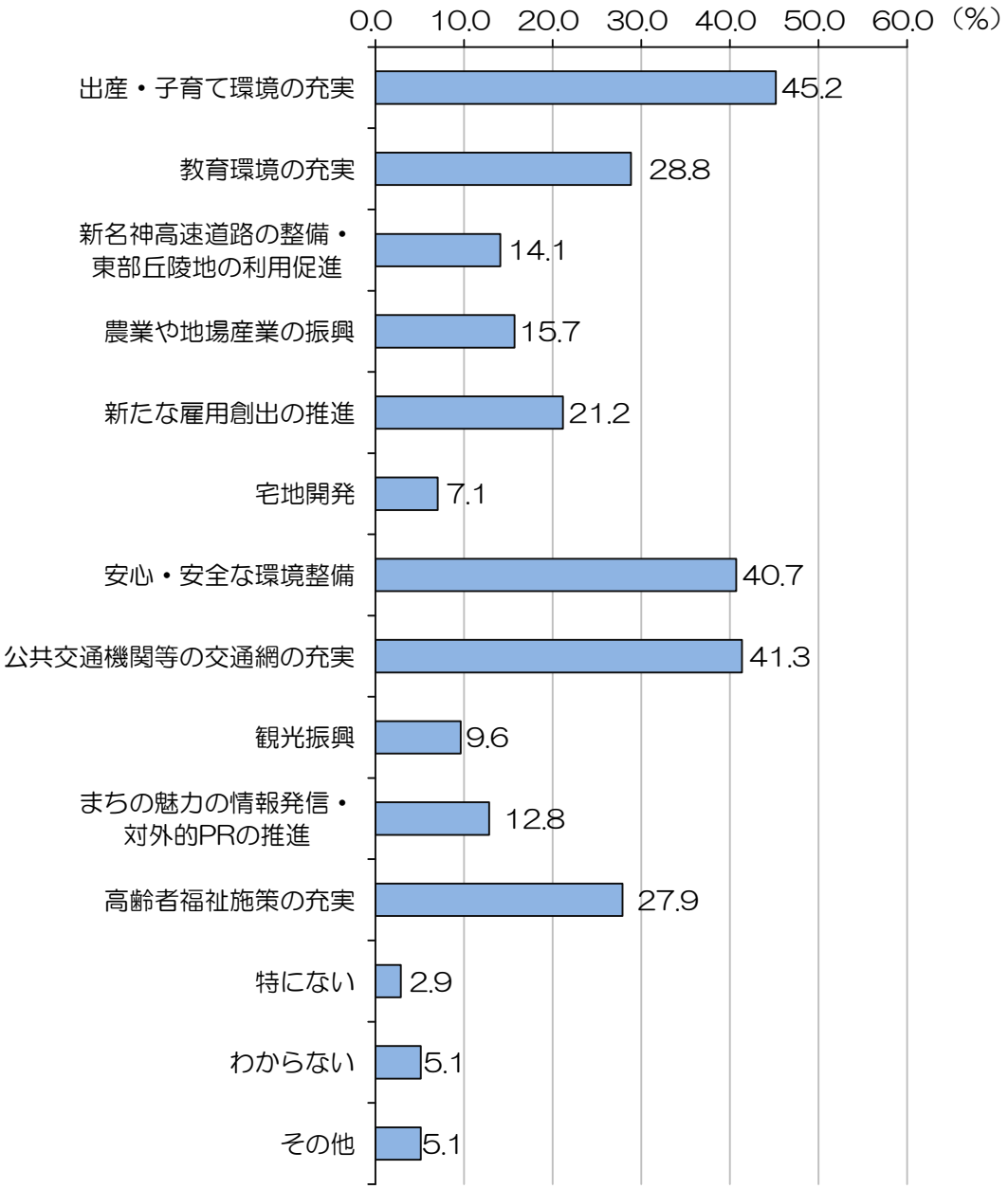
質問 3-2　質問 3-1 で「承諾しなかった」とご回答された方にお伺いします。
参加を承諾されなかった理由は何ですか。（複数回答可）



質問 4　今後、城陽未来まちづくり会議で扱ってほしいテーマはありますか。
（複数回答可）



質問５　城陽市で子育てをする上で望ましい環境と、そのためには行政からどのようなサポートがあれば良いと考えますか。（複数回答可）



質問６　質問５で選択した項目について、具体的に何を行っていくべきだとお考えですか。
ご自由にご記入ください。

主なジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
出産・子育て環境の充実	JR奈良線の複線化、産婦人科があると良い、自然を残しながらの開発。
	子育てしやすい環境・手当・補助の体制づくり。小学校教育の充実、教員の体制補強。
	出産のできる医療機関の誘致。
	1人目を他市で2人目を城陽市で出産しましたが、城陽市内で出産できる場が少なくて驚きました（帝王切開と決まっていたので助産院は考えていませんでした）。通院が大変だったので、何とかなれば嬉しいなとは思いました。
	子どもの医療費無償化、大学卒業までの給付奨学金制度の充実。
	こどもの医療費を0円にする。月単位200円の意味とは何でしょうか。
	木津川運動公園を無料で利用でき、感謝していますが、城陽市の公園は大体アルミ製の滑り台が多いのが現状です。地球温暖化で遊具は大変熱くなっており、遊べるところが限られています。子どものための公園をお願いします。物価高、収入が上がらない、扶養控除額が下がるかもしれない不安、私は子どもが3人いますがお金さえあれば、5人ほしいと思います。城陽市にはそういう方が多いと感じているので、もう少し母子家庭だけではない補助を求めます。
	城陽市で子どもを生みたくても産院がない。ベビーカーで通行するには傾いていたり、段差がある道が多い（障がいのある方や高齢者も大変だと思います）。公共施設（支援センター、文化パルク城陽、コミュニティセンター）の休館日が同じで、月曜日に遊べるところが少ない。子どもたちが、まちの魅力を発見できる機会がたくさんあると良いと思います。
	少子化で子どもの出生率を上げたいのであれば、もっと子育て世代に恩恵があるようにすべきです。東京などでは、独自で出産したご家族に別途現金支給などがあります。また、保育園に入れやすくするなど高齢者ばかりの対応ではなく、今よりさらに子育て世代への支援が必要かと思われます。
	子育てに関しては、未就学児が遊びやすい場所がもっと増えたら良いなと思います（室内外両方）。子どもを遊ばせて、親がお茶しながら子どもを見られる所など。高齢者に関しては、気軽にふらっと行けるようなカフェ等があれば良いと思います。デイサービスに行くほどではないが、誰かとコミュニケーションが取れる場所があれば良いと思います。
	安定的に人口が増えていくような環境づくり。商業施設を作ったり、高速道路を作ったりするのは一時的には良いかもしれないが「何もないけど自然が多い」という城陽の良さを失っていてマイナスだと思う。「小中すべて給食」というのはもっとアピールすべき（子育て世代の定住、城陽出身以外の人向けにも）。
	子どもを産んだ人をもっと金銭面でも心の面でもサポートできる体制を整えてほしい。未来はまだ見ぬ子どもが作ってくれるもの。
	子育て支援をもっと増やしてほしい。
	子育てが少ししにくい環境なので、支援の充実と環境の整備をもっとしてほしい。出産ができる施設がないのはしんどいし、より良く子育てができるようにアカチャンホンポや西松屋などの施設を作るなど遠出しなくても買い揃えられる施設を増やしてほしい。
	高校まで医療費の負担減、中学生まで1回200円を高校まで延長。道の駅を整備して地場作物を販売する。
	城陽市に産婦人科があると子育て世代にありがたい。
	室内での幼児の遊び場を作ってほしい。猛烈な暑さで公園に行けず、ひなたぼっこと文化パルク城陽の二択になる。今や一年の半分は夏という気候です。出産・子育てがしやすい政策を打ち出してほしい。経済的理由で一人っ子を選択する家庭が多くなっていると感じます。明石市等、子育て支援で有名な市町村にならってほしい。
	お年寄りや子どもが安全に行動できる、遊びに行けるように、各学校の通学路を修繕したり、見守りカメラを設置してほしい。

主なジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
出産・子育て環境の充実、新たな雇用創出の推進、安心・安全な環境整備等	子どもが気軽に遊べる商業施設の建設（MOMOテラスのような施設） 学校後に行けるような無料の学習施設（ボランティアで教育現場で働いたことがある人が教える）
	子育て世帯が住みやすい、子育てしやすいまちづくり。
	子育てしながら働きやすい企業を増やすため、企業誘致や助成金などを考えてほしいと思います。
	市内に安心して出産、子育てができる病院の設置、施設の充実。高齢者向け体力づくり講座（定期的に実施）の充実。何度でも受講できるよう、講座の回数を増加する。
	子育て、教育、高齢者福祉の一本化。駅へのマイカーでの送迎の利便性向上。
	ひなたぼっこのような赤ちゃんや子どもが遊べる場所が増えると嬉しい。駐車場がいっぱいになって行けないことがあるので分散してほしい。駐車所が1か所増えるだけでも違うと思う。使わなくなった施設の取り壊しまたは再利用を進めてほしい。古くなった使わない施設があると、暗い雰囲気があり住み心地が良くない。伸びきった木や草など除草したり、伐採してほしい。住みよい環境づくりのために実施してほしい。
	小学生が遊びに行く場所が少なすぎる。雇用がないので若者が都会へ行ってしまうので、財政のためにも積極的に企業を誘致すべき。産科医療を充実させてほしい。近鉄寺田駅横の踏切など危ない場所の整備は重要。
	人口の増加、子育て、交通事情の充実。高齢者が安心して暮らせるまちづくり。
教育環境の充実	学校づくりとまちづくりの連携。生涯学習の場の拡張。図書館、自習室の設置。
	レジャー施設（城陽 鴻ノ巣山運動公園や文化パルク城陽）の駐車料金の無料化。いじめ問題について教員の対応の勉強会（子どもの人権尊重につながる）。
	保育園での教育、学童保育の充実。

主なジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
新名神高速道路の整備・東部丘陵地の利用促進	東部の高速道路側の開発。
	アウトレットの工事を早く進める。アウトレットが完成すると、雇用推進にもなるし、市外からの観光客も増える。道路に溝があって、事故につながりやすいので溝を塞ぐ工事をする。
	新たな企業が城陽市に進出するのに対して、道路・交通整備を並行して進める。
	新名神高速道路の進捗状況の遅さ。近鉄の踏切時間が長い。
	城陽インターが完成し、アウトレットもオープンすれば人の流れ・環境などいろいろな面が変わると思う。ありがたい反面不安もある。生活する者が困らないよう取り組んでもらいたい。
	工業・企業がもっと増えれば近くで働けて良い。さんさんバスも利用者が増えるように金額を安くしたり、75歳以上は定額支払えば乗り放題にするなどしてほしい。
農業や地場産業の振興	自然豊かな城陽市の農作物を大切にしたいです。高齢者が住みやすく、楽しく過ごせるまちにしたい。気軽に集まれるシステムづくり。
	「緑と太陽のまち城陽」のキャッチフレーズ。住んで40年以上、住みにくく魅力のなくなった破産状態の城陽。開発と農業つぶしになっていませんか。農業で地場産業で高齢ながら頑張っていますが、野菜を売っても生活できない。
	京都府の統計によると城陽市の農家482件中茶業20件すべてが認定農業者である。城陽市全体では43件の認定農業者がおり、残りは小規模で行っている。これから家業を継ぎ農業をやっていこうとしている自分にはありえないと思う。他市町村では認定農業者以外にも補助をするのに、どうして城陽市は茶業や認定農業者にばかり補助をするのか。小規模農家にも補助をしてほしい。
	地場産業の活性化、大型スーパーの誘致。

主なジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
新たな雇用創出の推進、安心・安全な環境整備、公共交通機関等の交通網の充実等	雇用創出のためより仕事紹介、企業の紹介案内。進学校の創出。
	私は学生で家の近くでアルバイトしたいと考えているのですがアルバイトの募集が少なく、あったとしても最低賃金ギリギリのような仕事しかないので市外に出ざるをえない。それはひとえに城陽市の中でお金が回っていないということを意味しており、おそらくこれはアルバイトに限らず雇用にもつながる話なのでこれからの将来の生き方を考える上で自分の意見を述べたいし、皆さんの意見も聞きたいです。
	雇用を増やすだけでなく、賃金を大幅に上げられるようにすれば、生活に余裕が出て、子どもを望む家庭が子育てにカを注ぎやすくなると思います。保育士等の手当を拡充するなど、子育て支援、雇用創出どちらにも効果のある取組をしてほしい。
	高校、大学時代にバイト先がなくて困ったのを覚えています。タウンワークを片手にアルプラザを片っ端から面接に行くものの、「パートの募集」であふれており、宇治市か京田辺市まで行かないと仕事がないので飲食店が増えると良いなと思ってました。大阪まで出にくいのは切実に困っています。京田辺市に行くか、京阪宇治駅に行くか、京都・奈良経由なので「大阪まで電車で一本」ができるようになると良いなと思います。
	高齢者が増えていくなかでの雇用の推進があればいいのではと思います。
	城陽市内企業の求職者向け合同説明会。自転車道の整備。さんさんバスの増便（特に夕方～夜の便）。
	孤立させない、雇用を増やす、安心・安全で暮らしやすいまちづくりが必要。
	高齢者雇用の案内があまりない。木津川周辺の除草ができていない（土手より川に近い側、川が見えない）。若者を呼び込むイベントが極めて少ない、毎年同じテーマばかり。福祉では障碍者の給与が低すぎる。
	城陽市は住みやすくいいところだと思います。もっと多くの人に来てもらうには、仕事を作らないと難しいと思います。海外の方々でも協力して暮らし、働ける環境にできれば多くの若い人たちが集まってくれると思います。
	自然体で商工業中心の雇用を増やすために就職サポートの一環で女性の再就職と産休育休の手当の充実、大型ショッピングモール等の比較的遠い場所までの通勤に関わる交通網の整備。特に住宅地域での道路の幅が気になる。
	企業の誘致。新たな雇用が生まれ、法人税が増えるので福祉施策の充実につながる。
宅地開発	都市整備、古い宅地・道路の再開発。
	住宅街の空地（過疎化）の増加を何か上手く活用できないか考えたら面白いかもしれない。
	奈良と京都を結ぶバイパスが新しく出来るので宅地開発を進めたら良い。私立学校を誘致しても良いと思います。

主なジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
安心・安全な環境整備	近鉄寺田駅からの帰り道、街灯が少なく暗いと感じることが多々ある。そのため、部活動帰りの学生たちのためにも街灯を増やすべきだと考えます。
	JR城陽駅の踏切は寺田小学校の児童が多く、南行する車が非常に危険である。北行一方通行になることを願っております。右折するため、何分も停止し、児童の通行を妨げ、左折してくる車が入れず何分も停止したままなど問題点が多いと思います。
	城陽市に住んで50年以上経ちました。そこそこ住みやすいと思っていますが、道路の幅が狭かったり公園が少なかったり子供たちの遊べる場所があまりなかったり。最近は痴漢等の事案も増えているように思いますので、そういったところの配慮もお願いしたいと思います。安心して住めるようにしてほしい。
	お年寄りや子どもが安全に行動できる、遊びに行けるように、各学校の通学路を修繕したり、見守りカメラを設置してほしい。
	多感な年頃の子たちが安全に、健全に過ごせる施設、設備が足りていない。スポーツをできる環境が少なすぎる。バスケットゴールが学校の体育館しかない。スケボーやBMX、ダンスなどオリンピック競技にもなっているのに、市内で迷惑をかけず安心してできる場所がない。スポーツに目が向けば子供たちも健全に育ってくれるはず。
	河川の洪水・氾濫を防ぐ対策に取り組み、安心して住める城陽市にしてください。これが基本であると思う。
	地域の巡回強化。不審者の早期発見および適宜対応。
	近鉄鉄橋付近、木津川堤防テトラポットの減少および川床の低下。近鉄乗車時に観察しながら1級河川としての安心感が不安感に変わってきています。いつか山城水害の再来になるのでは。府、国への提言をよろしくお願いします。内水路への古タイヤ等不法投棄など、排水ポンプ事故も気にすべきとの京都新聞の記事を読んで、思いを新たにしています。
	安心して自然災害があっても暮らせるまちであってほしい。特に治水対策に取り組んでほしい。農業空地の救済で農業で生活できる仕組みづくりをお願いします。高齢者負担の軽減と若い家庭への支援、補助。若者サークル、男女の人的交流。
	交通量が多いので道路を広くして歩道と自転車と車の道路をつくってほしい。空地に木や草が生えて動物が住処にしているところがあるので、地主がきちんと管理するように行政に動いてほしい。鹿やイノシシが畑を荒らすのでもっと行政に動いてもらいたい。
	高齢者が外出する際、ゆっくり歩ける歩道、車いすやシルバーカーで通るのに遠慮しないで通行できる歩道をつくってほしい。

主なジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
安心・安全な環境整備	車の必要な生活が中心の地域ですが、道路の整備が不十分。毎日の渋滞、歩道の狭さ、自転車の道がないなど、不便で危険と思うところが多い。主要な道を広くし、狭い道に車が入らないような工夫をするべき。
	障がい者施設の充実（精神障碍者向けのグループホームの建設）、障がい者雇用の充実、障がいを持つ人への医療費助成制度の拡充。外灯の点検および増設。カーブミラー、ガードレール、アスファルト等道路の整備。防犯カメラの増設、防犯パトロールの強化。
	毎日の生活に大切なこととして不便だと感じていることは、近鉄寺田駅東側が狭くて危ない、駐車スペースもない。例えば、城陽観光協会を市の駐車スペースにした方が市民のためにもなると思う。コンビニにするとか。会社帰りに買い物するところも近くにあれば助かる。
	夏場になると公園の砂場まで草だらけになっているので、もう少し整備の手が回らないかと感じています。最近小さい子が遊べる遊具が増えて、利用される親子も増えたように思います。入れ替えや再整備のタイミングで、公園利用者に合わせた見直しをこれからもしていただけたら嬉しいです。
	子育て世代が安心して暮らすことができる政策、支援をもっと充実させてほしい。そうすれば子供をつくろうとか考えられる。
	子どもが歩いていて危ないので、歩行者が歩きやすいように道路整備を強化してほしい。特に国道24号の道路横はバイクが歩行者のところまで入って来て走行しているので危ない。
	人口を増加させるための取組が必要ではないか。近鉄久津川駅付近の道路渋滞を解決してほしい。
	子育て環境では、子どもたちが安心・安全に遊べる環境や施設を作る。口に入れても大丈夫な玩具であったり、その玩具には子どもにとってどういう発達を促すのかなど書かれたものを貼るか、ファイルに紙を挟んで誰でも見られるようにする。その施設に相談所を作る。また、広くて芝生が敷かれて様々な木々や噴水、ベンチがあるなど子どもたちが遊びやすい環境を作る。イメージとしては緑地公園や万博記念公園。
	城陽市の明るい未来のために、最も基本的なこととして確かな人間の育成と安全で自然の残る住みやすいまちづくりが大切であり、最も切望することです。
	駅前整備や生活道路が全くダメである。生活しにくいまちである。
	梅まつりについて、全く整備がされていないように感じる。今年はエリアも縮小されていた。
	パトロール、取り締まりの強化。

主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
安心・安全な環境整備	環境整備。
	公園をもう少しきれいにしてほしい。夏は草だらけ、日よけの場所もない。ベビーカーでも通りやすい道。文化パルク城陽を城陽市民以外は有料にしてもう少しきれいにしてほしい。
	支払いなど気にしないで、安心・安全に過ごせるように生活に沿ったお金の使い方。
	少しでも住みやすい町になるように取り組めると良い。自然災害が起きたときに「想定外」などと簡単に言って片づけることがない世の中にしてほしい。
	新名神高速道路の開通後の交通問題、環境問題が心配。高齢者が安心して暮らせる市にしてほしい。
	街中にLEDソーラーライトをつけて街を明るくしてほしい。街が明るいと気持ちも明るくなります。一般家庭では節電のためか外は真っ暗です。
	安心安全な環境整備という点で、溝にふたをしてほしい。辺りの溝はふたがされているのに、なぜか友が丘8町内は取り残されたようにふたがされていない。
	今池地区は水害が発生すると、東部丘陵に避難するよう指示されているが、水害の防災訓練もなければ、避難タワーも作らず、バスを手配することも聞かず、住民にもっと危機意識を持たせるよう、また住民の命がどうすれば助かるのかをもっと議論すべき。
	人優先の道路整備・交通規則。
	駅周辺の整備、道幅が狭く送迎しにくい、電車の利用も億劫になりがち。
	南都銀行と城陽市役所側に横断歩道をつけてほしい。陸橋には上がるのが大変です。信号の待ち時間が長い。
	交通渋滞の解消、JRの複線化により踏切の遮断機が下りている時間が長くなったので、JRに改善を求めてもらいたい。

主なジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
安心・安全な環境整備、出産・子育て環境の充実等	避難所でもある体育館のエアコン設置。プール学習を民間と連携する（水道代、管理費、管理労務などの負担を減らす）。ふるさと納税をしていない者に恩恵があってもいいと思う。
	防犯カメラの設置など犯罪などを未然に防ぐための環境整備（犬のフンなどの処理をしない飼い主も多い）。城陽市内で安心して出産できる環境。高齢者でもいつまでも働けるような施策、環境など。
	小学生に見守りGPSの配布、渋滞緩和のための踏切の高架化、国道24号の複線化やバイパス整備。
	道路の拡幅などの整備（歩道など）、公園の整備、都市計画道路の見直し、新名神高速道路を活用したバス路線の検討、待機児童ゼロ（各保育所の人員確保、待遇改善）、ふるさと納税の返礼品の拡充。
	公園の整備（複合遊具の設置）、通学路の整備、有名なラーメン店が多いのでラーメンを使った街おこし。
公共交通機関等の交通網の充実	「交通機関の充実」では、高齢化に伴い免許返納が言われていますが、返納したくとも近くにスーパーもなく以前あったさんさんバスも今は無く、日常の買い物もできません。少々時間はかかっても足になるバスがほしいです（小型バスで良いので）。
	さんさんバスの本数を増やしてほしい。子育て世帯のサポートの充実。
	JR奈良線の複線化、城陽さんさんバスの路線拡大。
	バスや電車の本数増加。JR奈良線の宇治止まりをなくす。
	長池から市役所まで遠回りしなくて直通で行けるバスがあれば便利（車酔いしなくて済む）。
	若者も高齢者も行きたいときに行動できる交通網の充実。
	バスの区間が城陽市は狭いように感じるので、もう少し範囲を広げてもらえると、様々な場所に気軽に行けて便利になると感じました。

主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
公共交通機関等の交通網の充実	元気な方ばかりじゃなく、足腰が弱くなっている方がたくさんいらっしゃいます。バスの停留所がもっとあれば良いと思います。食料品店はありますが、ちょっとした服や下着を売っている店があると良い。城陽市は文化パルク城陽やコミュニティセンターで歌等の催しが多いので、私はとてもうれしいです。
	定年を目前にして不安になっています。いつまでも車の運転ができるわけではありませんし、公共交通機関が整っているとは思いません。城陽市内の他の校区と比べると、地域によってこんなに差があって良いものでしょうか。高齢になっても楽しく生活ができる、行きたいところへ行ける環境・手段のあるまちにしてほしい。古くも新しくもある「便利な田舎」であってほしい。近所付き合いの気持ちは残したい。
	近鉄寺田駅に急行が停まれば良い。バスの本数が増えれば良い。近鉄寺田駅近くにもイオンのような子どもが行きやすい場所がほしい。
	バスの本数を増やしてほしい。新しいバスを作ってほしい。
	食料品・衣料品を買い物できるところがなくなってきています。高齢になると歩いて行けるところに少し大きめのスーパーがほしい（昔はイズミヤがありました）。車でしか移動できないのはとても不便です。買い物難民にならないようにしてほしい。
	運転免許証を返納後、今住んでいるところから買い物に行くためのバスがないのがとても不安。アルプラザや文化パルク城陽までの足がなくなる。ミニバスがもっと便利になると良いなあと思っています。
	高齢に伴う外出移動手段、タクシーをすぐに確保できない。
	城陽さんさんバス路線の拡大。
	青谷地域は子どもの数が年々少なくなって、今年の小学1年生は18名です。若い人が住みたくなるような魅力のあるまちづくりに取り組んでほしい（例：明石市）。農家の後継者問題。車の運転免許証を返納した後の買い物等が心配。近頃の気候異常による災害対策。
	自分自身が高齢者であり、車の運転もできないこともあり、今後のことを考えると病院受診、買い物等で外出する際のサポート（乗り合いタクシーやバス）をもっと充実していただければと思います。
	市職員（福祉課）の業務に対する知識向上および対応（接客態度）。城陽さんさんバスの運行回数を増やしてほしい。
	城陽さんさんバスの利用時間を朝7時頃から夜8時頃まで運行できるようにお願いしたいです。

主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
公共交通機関等の交通網の充実	城陽さんさんバスを市役所、近鉄寺田駅、JR城陽駅、アルプラザ、きづ川病院等とつないでもっと便利かつ頻繁に利用できるようにしてほしい。障がい者、老人への介護サービスのための人員を増やし人材を育てること。
	JR城陽駅、近鉄寺田駅、その他の駅近くに商店があり、ランチなどで気軽に利用できる食堂などを作り、若い人が集いやすい環境の整備が必要ではないでしょうか。城陽さんさんバスの利用者の意見を求めて、路線の見直しをしたらいいのではないか。
	さんさんバスの運行時間の延長。
	特に青谷地区から文化パルク城陽までの交通の便。
	利便性がもう少し良くなってほしい（交通網）。
	バス路線の充実。
	JR奈良線複線化の延伸。

主なジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
公共交通機関等の交通網の充実、まちの魅力の情報発信・対外的PRの推進等	城陽市内に行くバスがない。道幅が狭く車を寄せる場所がない（粟神社から奥）。
	高齢者が住みやすい交通網づくり、免許返納後の移動手段が少ないのでコミュニティバス等。城陽名物（ハスや梅）のPR。名物があるにもかかわらず認知度が低い。お年寄りや若者どちらにもわかりやすいPR方法の模索。
	電車の増便、駅前開発、遊具がたくさんある公園を作ってほしい。
まちの魅力の情報発信・対外的PRの推進	①城陽市のPR、②住み良いまちづくり、③子ども、高齢者の集う場所づくり、④近鉄寺田駅前のインフラ整備
	落ち着いたまちで子育てがしやすい環境であることを宣伝していくため、PRのためのキャッチコピーとSNSでの動画や文字を使った工夫をする必要があると思います。
	農業であれば梅なのか、いもなのか、いちじくなのか、地場産業であれば金銀糸なのかいずれに力点を置いているのか不明で、いずれも中途半端でまちの魅力が見えてこない。市が知恵を絞って農業、産業を押し上げるくらいでないとダメだと思います。
	SNS（Instagram、TikTok）を利用した公的機関（市役所、警察、消防署など）の情報発信、市民生活に密着した必要な情報を若者目線で発信していく。
	健康と趣味が結びつくようなあらゆる世代が暮らしやすい環境づくり、SNSを利用した推し活やパワースポットなど観光名所の紹介、民間企業とのタイアップ。
	今の高齢者の子どもは城陽市外で生活している。自分のふるさとを自慢できるまちにしてください。地下水を大事にしてください。
	城陽市は知名度がとても低いので、全国にアピールできるイベント等に積極的に参加すべき。宇治市くらいの知名度があると良いと思う。
	夏祭りなどのPR。

主なジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
まちの魅力の情報発信・対外的PRの推進	一時的に城陽に住む若い世帯は割と存在していると思うが、彼らはあくまでも家賃が安いからといった理由でここにいる。排他的な空気はそんなにすぐに変化はしないが、そもそもそういった世代や層を受け入れる雰囲気がない。夏祭りがあっても、そもそもその存在を知られていない。
	観光・まちの魅力の情報発信。自然が豊かなのでウォーキングマップを作成する等。奇妙な話（水度神社の「夜叉婆さん伝説」など）を集める（好きな人は好きだと思います、伝説とか）謎解きラリー。サークルがあるのであれば、積極的に発信してみる（案外知らないものです。地域活性化や防犯にも良いかもしれない）。
	まちのPRをもっと多くする。KBS京都のテレビでどんどん城陽のまちを発信してほしい。
	どのような取り組みをしてるかあまり分かっていないので知りたい。
	城陽市に足を運びたいかとなっても特に無いとなる。素敵なとこがあるのにアピール不足、知名度がない。アウトレットは期待できるが、アウトレットと何かをアピールしていけたら良い。
高齢者福祉施策の充実	高齢化、少子化施策の充実化。空家、空地を有効利用するため、市が買い上げ、低価格で分譲や貸出しして、人口減少を抑える。
	要支援、要介護の方が利用するデイサービスが少ない。寝たきりになる前に運動できる施設をつくるべきだと思います。
	京都全体で廃校になった学校などを老人ホーム・施設など、低料金で入れるようにしてほしい。城陽市自体40～50年に栄えた市として転入者も多かったが、高齢者が増えてきているため。
	高齢者が増えてきているので、施策を充実してほしい。
	高齢者施策は目先のこと、子育て・教育は20年後を見据えて考えなければならない。これらの項目は別々に考えていかなければならない。

主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
その他	若者を増やす町おこしや施設づくり。
	木津川を渡る場所を増やしてほしい（車道）。
	引越してきて1年未満のため、市の魅力があまりわかっていません。
	おいしい水道を守る取り組み、市民の声が市政に届く仕組の整備。
	今がとても大事な時のように思います。城陽市の未来に向けた都市計画をしっかりと現状をふまえて（50年後の姿を考えて）様々な角度から考える。くりかえすようですが大切な時ですので、今回の会議が計画されることをとてもうれしく思いました。
	災害に強いまちにする。
	自分が暮らす市なので今後のことに非常に興味がありますが、具体的にどうしたら良いかとなるとアイデアが浮かばず難しいです。他府県などからの移住もあると思いますので、知り合いも少ない人のために交流する場所があると良いかと思いました。
	地球環境の変化が年々高温や北日本の豪雨で川の氾濫が目に余り、この地域では免れているが、明日は我が身だと感じています。大雨がやってくると木津川は大丈夫かと不安です。今のところは大丈夫と思っても先は分からず、一度川のチェックをしておいた方が良いのではと感じています。
	正職員の増加は市民サポートの向上につながる可能性があるため検討いただきたい。増加に伴う予算の確保は議員定数の削減や議員給与の見直し、たとえば京都府の最低賃金などにするなどをご検討いただきたい。
	古い空き家の活用。相続者が分からなくなる前に長い間空家になっている家屋の処分、活用などの手助けができれば良い。
	ゆとりある保育、教育、医療、介護の実現においては、労働環境や給与の改善。若い世代の政治参加においては、SNS等で拡散、興味を持ってもらえるような活動。
	夢のあるまちにしてほしい。

主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
その他	素人意見ですが、可能な限りの機械化・自動化（ヒューマンエラーの減少、空いた時間で別のことができる）。
	高齢者が多くなり、若い者に負担が大きくなっている。若者に住みやすいまちであってほしい。
	人口増につながる政策。
	医療費助成の拡大。
	精神・発達障害の人に生活支援金を出したり、このような補助金制度があるなどの説明を受けたり、各種申請をわざわざ市役所に行かなくともできるようにしてほしい。障がい者の就職支援をもっとたくさんしてほしい。就職先の斡旋や実習などの生活支援金を出してほしい。
	農地の利用。高齢に伴い農地管理ができなくなり、後継者も管理を拒否するなど荒地になるケースが今後、多くなります。税金面のために農地として管理するのではなく、スケートボード場、サッカー場、BMX場など子どもたちや若者が自由に使える場として農地を利用する。
	若い人たちが城陽に移り住みたくなる魅力の創生、同じく若い人たちが城陽に住み続ける持続性の保持。ただ何もかもと総花的には無理があるためターゲットを絞るべきと考える。
	B型支援事業所で働く人の給料を多くしてほしい（工賃）。障がい者と高齢者のゴミを戸別収集してほしい。障がい者の医療費を補助してほしい。
	学校、文化施設、スポーツ施設の整備、職員、指導員。
	1人暮らしの高齢者が孤独を感じることなく安心して暮らせる制度。
	特殊詐欺を受けないために家の加入電話よりセキュリティの高いスマートフォンの推進と補助。自治会負担を減らすため、行政よりの指示・指導を増やし、また自治会補助金を増額する。高齢者福祉施設の充実も必要だが、まずは健康で一人自立できる方法を考えて指導する。
	幼稚園児と地域住民との交流を図る企画がほしい。

主な ジャンル	【質問5】で選択した項目で、具体的に取り組むべきこと
その他	「ドリーム燃料」の普及に寄与してほしい。昨年1月YouTubeで公開後中断され、10月に情報公開が再開されました。城陽市のため、日本のため、人類のためになると思う。産業革命から今日までの世界を変える世紀の大発明と思います。
	「旬菜市」、「五里五里市」は地元に知られています。城陽市にも「道の駅」のような施設ができたら良いなと思う。
	金銭面のサポート。
	税金は安くしたら良いと思う。
	医療機関を増やす。住民税を下げる。
	寺田は高齢化が進み、若い人・子どもの多くは住みやすいまちであれば若い人たち、高齢者共に手を携えて頑張れるのではないか。
	福祉問題で色々耳ざわりの良いことが並んでいますが、利用となるといつもノーと言われます。肝心な時に駄目と言われると心が折れます。弱者にやさしいまちを望みます。
	市北部にイオンがほしい。身近にすべてが揃う大型スーパーがほしい。城陽市特産の手土産を充実させてほしい。斎場がほしい。駅は高架にしてほしい。
	特産品を使ったレストランやショップ、道の駅など。
	住宅街のあちらこちらに最近、空き家が増えている。その空き家をリフォームや小さくして、近所の住民（遠くに行けない）や友達、若夫婦の子どもなどが利用できるようにして、心のよりどころになれる場所になれば良い。

質問７　その他、ご意見などありましたら、自由にご記入ください。

その他のご意見
大学の専攻が労使関係について主に学んでおり、自分の学びや気付きに直結する機会にしたいと考えております。
こちらに移住して6年ほどになります。これからも長くお世話になると思いますので、少しでも力になれればと思います。
城陽市役所に意見やメールしても返事が来ません。他の市ではホームページ上でオープンにしているところもあります。無視されて悲しいです。
子どもが毎日お腹が空いたと帰ってきます。9時～18時まで働かないと生活できないなか、給食が少ない現状、仕事後お腹が空いたとぐずる子ども達に対して給食をもう少しおかわりできる量をお願いします。
城陽市で育ち、結婚、出産後も城陽市民です（育休中ですが職場も市内）。城陽市がもっと住みやすく、魅力ある市と若い世代にも伝われば嬉しいです。
貴重な機会をいただき、ありがとうございます。府外の友達に「城陽市ってどこ？奈良県？」と言われるたびに、少し悲しくなり、生まれ育った城陽市をたくさんの人に知ってほしいと思っています。宇治市みたいに観光名所になってほしいわけでもなく、木津川市みたいに都市開発してほしいわけではないのですが、城陽市らしさを強くしてほしいと思っています。特産品をもっとブランド化するなど。五里ンジャーのシュールな感じが好きです。
道路ができて自然が少なくなっているようでさみしい（イモ畑がなくなり、ハスの花もあまり見れなくなった）。
会議に参加したい気持ちもありますが特に取柄もなく、ごくごく普通に72歳まで過ごしてまいりました。提案することも思いつきません。「城陽未来まちづくり会議」成功をお祈りいたします。
45年間城陽に住んでいますが、だんだんと便利に過ごせるようになったと思います。
城陽の特産品を生かした、目先を変えたイベントがあったら、城陽市以外の人たちが来てくれて活気が出るのではないか。花火はgoodです。
通学路がまだまだ狭く、車道ギリギリの場所が多い。天候に左右されない、夏でもスポーツができる施設、環境を整備してほしい。
歩行者が安心して歩ける道路を増やしてほしい。道路が整理されておらず、その場作りの道路が多く、車が大変走りにくい。
青谷周辺を浮浪者が徘徊しており、ゴミをあさったり私有地で立ち小便をしたりしています。対策が必要と考えます。
運送業の企業誘致では産業発展なし（荒洲の土地がどんどんなくなっている）。農地の売却に歯止めをかけよ。
どうして選ばれたかわからない。仕事はシフト制になっており土曜日は休みにくい。
正直なところ、こういうのに参加して未来が変わるのなら参加したいですが、高齢の方ばかりの意見が多く取り入れられていると感じています。周りの子育て世代の人たちが「城陽市で良かった」と思えるような市になればもっといいなと思います。
みんなの意見を聞いてもらう場所なのに謝礼が出るのはおかしいのでは？
今回は仕事で参加できませんが、このような会議はとても良いと思います。次回あれば参加したいと思います。

その他のご意見
昭和43年以来お世話になっております。富野田園平野は日本有数の地、朝日と夕日が望め、長池演習場は日本全国の自衛官の教育の場となっているとのこと。素晴らしい自然の幸せな毎日です。
自治会会員が減っています。役員をするのが嫌、会員へのメリットがない、入会している人と脱退している人との区分なく皆平等に入会するのでは嫌気がさされている。市の指導的観点から入会してる人としていない人の差別化を広報で示して、皆が参加して自治会を守り育てるような指導をお願いします。
美味しいレストランやカフェがもっとあれば良いなと思います。
住むまでは城陽に来たことがありませんでした。家族の都合で移住しました。有名な史跡、建物、観光地等もほかのまちに比べて弱いと思います。新しい感覚で居心地の良いまちを目指してほしいです。未来のイメージを知りたいです。
防災無線が活用されていて安心しています。ありがとうございます。
自治会活動の意義（高齢者増加による活動不参加対策）。
若い子も共働きなので、買い物、交通の便利さはとても大切だと思う。若い人が住みよいまちになればと思う。
城陽市は高齢者が多いので施設を増やしていくとともに雇用も増えると思う。
城陽の特産物（イチジク、金銀糸など）について学ぶ授業が小学校であり、とても良い取組だと感じています。東京から引っ越してきたので、子どもたちが地域について知る機会があって良かったです。
ひこにゃんぐらいのゆるキャラを作るとか、脱出ゲーム的なものを人気のアニメキャラとコラボして人を集める。
0歳児がいる人は忙しいので、このアンケートに選ばれないようにした方がいいと思う。昼間なので、承諾する人が高齢者ばかりになって意味がなさそうな気もします。
企業誘致等で収入・財政状況を改善できたら良い。
近鉄久津川駅の府道281号がもう少し広くなれば良い。シルバーカーなどで自動車が渋滞してしまうこともあります。歩くのが困難だから自転車に乗る高齢者もいる。みんながやさしくなれば良い。
このオンライン会議では、全員顔出しですか。その辺明記していただけたら分かりやすくてうれしいです。
謝礼は無しでもいいと思います。WEB形式にしたのは合理的でよいと思います。
鹿などの被害を防ぐため、農政課にお世話になり、柵を設置できました。大変助かっています。
市外に住んでいる市役所員が多いのではないでしょうか。城陽市に住むメリットがないと感じるから市外に住んでいる方も多いはず。そういった人の意見も大切だと思います。
城陽市コミュニティバスの経路が少なすぎるのと、運行時間も市役所が開いている時間くらいしかない。近鉄久津川駅発着や近鉄寺田駅西側方面へのバスが一切ないのはいただけない。城陽市全域をカバーするくらいは必要である。

その他のご意見
城陽市民が城陽市内でお金を使っていただける施設づくり。
日本全体がすべての面で停滞しているため、難しいとは思いますが、小さくても老若男女が住みやすく、満足度の高いコミュニティづくりに期待しています。
市政に活気がない。障がい者へのサービスが低い。NPOの作業手当が低すぎる。高齢者のイベント参加がしづらい体質が直っていない。
農業の後継者を育て、食糧の自給率を高めること。工業製品を売って食料は輸入するという方式は通用しない時代。
農作物も寺田芋といちじく、梅だけではなく、美味しいいちごといった果物など、新しい農業を取り入れて若い人が農業に取り組めるような活気のあるものにしていったらどうでしょう。
正道にトイレがほしい。車塚古墳をきれいな公園にしてほしい。歩道・自転車道の整備、さんさんバスの経路拡大、スターバックスを誘致してほしい。
このような機会があることはとても良いことだと感じました。ぜひ会議の内容を広報紙やホームページでたくさん発信していただけると良いと考えます。
TWINKLE城陽とか良いと思います。花火大会も（子どもが無料になる年齢を引き上げて、一般観覧料を高くしても良い）。
今までは何かあれば市議会議員に声を掛けてましたが、直接市民の声を届けられる場所があるなら良いなと思う。
年齢を問わず利用できる教育・文化・芸術に向いた公共施設やスペースの充実、自然環境の整備に力を注ぐとより住みやすい市になると思う。
雇用が増えて、地元で働ければ、通勤時間が少なくなりありがたい。60歳以上で近くでなら働ける人が増えるかもしれない。
将来の環境問題に対する対応とそのための財政の合理性について、透明性をもって発信しほしい。
飲食店を誘致してほしい。国道24号のファミリーマート城陽奈島店から山城大橋まで暗い、街灯をつけてほしい。
安心する防犯、防火。
寺田に住み50年、とっても拓けて住みやすいまちになりましたことは、市職員の皆様方の豊かな思いのおかげです。町から街になり、ありがたいことと感謝いたします。
クラブハリエやパティシエ エス・コヤマぐらいのスイーツ店があれば、集客も城陽市の知名度も上がるかもしれない。
買い物が不便なところがある。ドラッグストアはたくさんできているが、年寄りにも行きやすいスーパーが少ない。
道端や畑のふちやどことも言わず、まだまだ犬のふん、ペットボトル等のポイ捨てのゴミがあり、散歩してても楽しさが半減する。

注：記述による回答については、漢字などへの表記替え、句読点や誤字・脱字の訂正、表記の統一以外は原文のまま掲載しています。

５－３　参加者のアンケート結果

（1）城陽未来まちづくり会議に参加してみて

「城陽未来まちづくり会議（55 人委員会）」終了後に行ったアンケートでは、参加された 46 人のうち 41 人からご回答いただきました。

アンケートによると、回答者 41 人のうち、35 人が「良かった」と回答しています。

	良かった	良くなかった	どちらでもない	無回答
件数	35件	0件	4件	2件
割合	85.4%	0.0%	9.8%	4.9%

（2）テーマ「城陽のどこが好き？きらい？」について思ったこと、感じたこと

テーマ「城陽のどこが好き？きらい？」について思ったこと、感じたこと
雇用が増えたらもっと定着率が上がる可能性があるという意見に共感しました。
内容は当日の議事録を見ていたればと思います、皆さん同じような事を考えお持ちだと言う事に興味を持ちました
交通の面や福祉の面で不足していることが多いと感じた。
城陽市の好きな点、不満のある点は以下の通り。 好きな点：京都市内へのアクセスが良好（立地、高速道路、公共交通機関が充実している）で住みやすい。スーパー（食料品、ドラックストア）や飲食店、コンビニ等が充実していて、日常生活で困ることが無い。 不満のある点：道路が狭く、車の運転がしにくいと感じる場面が多い。また、日常的に渋滞している印象がある。大きい総合病院が公共交通機関（近鉄、JR）付近になく、アクセスが悪い。
様々な世代の方からたくさんの意見があり、自身と皆さんの考えていることについて、知ること伝える事ができました。 発表の際には、共通して出た意見と新しい意見があり、非常に有意義であったと思います。
みなさんのいろんな意見が聞けてよかったです。世代や環境、家族構成によって、問題だと思う点が人それぞれ違い、城陽にはまだまだこんなに改善すべき点があるんだなと思いました。
様々な意見があり、その中でも取り上げられなかったですが城陽ー八幡に橋がかかると便利になるという意見。ユニクロからズドーンとつながるようになると大阪へも行きやすくなります。その横に自転車道もあれば堤防のサイクリングも楽しめそうです。自然が豊かなので堤防に上がると意外と遠くまで見えます。 しかし、そこに行くまでに狭い危険な道路をなんとかしないといけない。歩行者、自転車、車すべてがスムーズに移動できる安全な城陽市になりますように。
話しやすいテーマだと感じました。普段住んでいる街について、その都度何か思うことはあっても、テーマのように好きなところ・改善してほしいところについて時間をとって考えてみたり、他の市民の方と考えを共有する機会はなかったため、今回会議に参加させていただきありがたく思いました。
他の参加者と同じく自然や古墳群、交通の便や住みやすいところが好きというところは同じだった。 また、人口減少、空き家問題、働き口が少ないや一部で道路が狭い、子育ての充実や産婦人科が少ないと問題点も日頃思っていたことと同じで、皆さん同じことを思っておられると感じた。長年の課題であることを改めて感じた。 是非、城陽市は好きなところは推し進め、嫌いと感じることは長期的な目線で改善してほしい。
自分とライフステージが異なる方々の視点からの意見を聞いて、今まで自分自身では感じることのできなかった城陽市の良いところ(と悪いところ)を感じることができました。

テーマ「城陽のどこが好き？きらい？」について思ったこと、感じたこと
城陽市に住んでいる長さや場所によって、それぞれに感じ方が随分違うのだと改めて感じました。
友達や家族とも度々話題になるテーマなのですが、たくさんの方の意見を聞いて新たな視点や、やっぱりこの意見は多いんだなというところに気づけてとても面白かったです。ここまでみなさんが城陽市について考えてくれているということが伝わってきて、仲間意識が芽生えましたしこちらも嬉しくなりました。会議を運営する側も、参加する側も新たな発見があると思うのでどちらにとってもとても有意義な時間になったのではないかと思います。
城陽市に住んでいるいろんな方たちのご意見が聞けて良かったと感じました。 私の知らない一面などもしれて参加できてよかったです。
今まで考えたことなかったので、振り返る良い機会だった
初対面の人の中では、比較的議論できたかなと思うが、テーマが大きすぎるため議論は深まりに欠けたように感じた。 様々な年代の人の話を聞くことができて有意義であった。好きという理由として「交通の便が良い」、「買い物が便利」が挙げられたが、市内交通の問題や買い物に対して年齢や校区の問題、相違が抜けていたのが気になった。
自分が住む地域について、改めて好きなところ、嫌いなところ（困っているところ）を考えるきっかけになって良かった。
自然、公共交通機関の充実などは良いという反面、道が狭い、働く場所がない、空き家が多いなどといった点は会議に参加していた人達がロ々に訴えていたので、市として長期的かつ詳細な都市計画を立ててほしいと思った。また、他の市町村に稀に見られるような大規模な市の"改革”といったものをこの城陽で見てみたいと心の奥で思っています。変化の結果が良い悪いではなく、変えようとチャレンジしている姿勢を我々城陽市民に見せてほしい。
城陽市のことを好きな部分と嫌だなと感じている部分は同じ市民だからこそ、ほとんど似ているなと感じました。市外への交通の便は良いけれど、市内の交通の便は悪く感じるところ、産婦人科がないことや大きい病院（急病の時）が少ないこと、子育てする上で遊べる場所が少なく、教育環境の統一がないなど、困っていることへの意見がたくさん出た気がします。定住者と移住者の増加を増やすためには、やはり子育て世代と高齢者の住みやすさの徹底のために、城陽市の良い部分をもっとアピールしていく必要があると感じました。
市民が住居として安心して暮らせるまちであることは非常に良いが、車と道路の問題の心配事が多い。この問題は60年延々と続いている。
城陽市に住んで数年ですが、このような会に参加でき、とても貴重な体験をありがとうございました。開始前はとても緊張しましたが、思ったより堅い感じではなく、和やかな雰囲気でだんだん話しやすくなりました。ご自分で希望して参加されているということもあると思いますが、みなさん城陽市のことを真剣に考えておられることが伝わりました。特に出身がこちらでないものですから、学校関係のお話はとても興味深かったです。全体のまとめ・発表役に選ばれましたが、突然でしたのでみなさんのご意見を上手く伝えられたか心配です。グループの場ではお話ししたのですが、フリーWi-Fiの整備をぜひご検討いただきたいです。よく人が集まる場所（駅周辺、商店街）は、利便性や地域の活性化につながりますし、災害時の避難場所（小中学校やコミュニティセンター）は、いざという時のために防災にもカを入れているというアピールになると思います。
結婚以来40年以上も住み続けている城陽市ですが、改めて「どこが好き？」と問われて「はて？」と考えてしまいました。近所で一緒に子育てしたあの子ども達もほとんど他地域に移住してしまいました。今、城陽市に住んでいる若い人達は何を考えておられるのか興味があり、参加しました。その中で「交通の便が良い（大きい道路、鉄道）」と「市民の足が不十分（さんさんバス等）」という真逆の意見があるのだと、年代の差を感じました。同感だと感じたのは、「大きな商業施設や遊び場だけではなく、歩いて行けるような身近なところに、安全な公園や遊び場、ホッとできる施設がもっとほしい」、「若い人達が住み続けられるような、働き続けられるような企業誘致をしてほしい」ということです。
幅広い年代の方と意見交換をすることができて私が感じていることは、異なる意見を聞くことができてとても有意義だと感じました。細やかな点での改善点と言われている若い方がたくさんいらっしゃって、しっかりと考えておられるなと感心しました（ユースセンターの創設等と言われていたのがすごいと思いました）。企業誘致を長期的な視点ではありますがやっていただくことで、母親も子育てしやすい環境が充実して、人口増加にもつながっていくので、継続的にやっていただきたいです。

テーマ「城陽のどこが好き？きらい？」について思ったこと、感じたこと
多くの方が同じような意見を持っていることが分かりました。これは特に今後取り組むべき課題が明確であるということかと思います。車を持っていない方が住む地区によっては、生活に不便さを感じているというのは、私にとって新しい視点でした。
それぞれの年代で感じているところ、視点が違うので面白かった。現状維持派が多いかと参加前は思ったが、開拓派が多かったので良かった。
城陽市の改善点として、道路の広さがよく挙げられていました。また、城陽市が観光地として交通量が増えたりした時や、新しく店ができた場合など、色々なところで道路の狭さが問題だと考えられる。しかし、道路を広げることはそう簡単に、早期にできることでもないので、どのようにしてこの問題を解決するかについては、議論の中で結論を出せなかった。難しい問題ではあるが、頑張ってほしい。
インフラのことを伝えている人が多かった（さんさんバス、歩道、駅）。大阪に出ていくことを考えている人が多かった。車を持つのが前提となっている。高齢者の免許証返納後が心配。昨年に意見をいただいていたところが改善されていない。
今回参加して勉強になりました。城陽市の特産品等の良さをいかに広報するか考えてアピールしていく。また、企業誘致に伴って道路の整備をしっかり行っていくこと。
人それぞれ好き嫌いの観点が違うことが面白かった。
好き・・・自然が多く、夜は静か。交通の便も近鉄やJRがある。高速道路の開通やアウトレットができる。 嫌い・・・道が狭い、混む。さんさんバスの本数が少ない。鴻ノ巣山運動公園等の駐車料金を市民だけでも無料にしてほしい。
城陽の地に嫁いでかれこれ34年。この間に3人の娘の子育て、両親（夫）の介護と色々ありました。子育て世帯・世代のお話を聞いて、我が子の頃に比べて随分恵まれた環境になったと思いました。また、五里五里の丘はお気に入りの散策コースの一つですが、老若男女問わず楽しめる場所（施設）はとても大切です。城陽の好きなところが意外とあるなと再認識しました。次は介護の番です。少しでも長く元気で過ごせますよう、そのための色々なイベントを期待します。
行政がコンパクトなので、予算が限られている中でもまだ市民のかゆい所に手が届いている方だと思う。参加者は城陽が好きなんだと思いました。
このテーマは広くて考えやすく、自由な気持ちで参加することができた。また、私自身が城陽について改めて考え直す機会にもなった。テーマが限定されず、様々な分野から意見を出すことができるので、年代や居住地、家庭環境等が違う参加者同士のグループワークにおいても、それぞれの関心事を自由に出し合うことができた。子育て、高齢化社会、道路、環境、施設等、私も含めてみんなが思い思いに話し、日頃考えているような身近で具体的な内容の話ができた点でも、とても良いテーマだったと思う。
出席者の大方が住みやすいと感じており、それはそれで結構である。ただし、もう少し改善点が出ても良かったように思う。
自分と同じような考えの人が多いと感じた。

テーマ「城陽のどこが好き？きらい？」について思ったこと、感じたこと
参加している方の城陽に対する想いが強いなあと感じました。好きな部分と嫌いな部分の意見交換が中心でしたが、「もっと良くしたい」、「この良い所をさらに発展させたい」という所が非常に勉強になりました。一番、話の中で出てきていたのは交通の便です。さんさんバスの本数はもう少し増やしてほしいという意見が強く印象に残りました。
産婦人科がないことに驚きました。今後、出産を考えた時などに増えていると良いなと思いました。城陽を象徴するものが確かにパッと思いつかなかったので、シンボルがほしいと思いました。もっと城陽の良さが伝わるPRができれば良いと思いました。
同じような「好き」が多く、「好き」に多様性がない。「嫌い」の意見に関して、解決に向けてどのフェーズにあるのかの進捗具合（例えば5段階）および今後の見通し（次年度のフェーズと見通し）を、毎年広報にでも特集として明示すべき。市民の意見として、ホームページで掲載すれば、市外の人々でも城陽市の実態を把握できる。10年以上前の意見は、図書館で閲覧可能にする。城陽市民の意見の歴史となる。ただし、不都合な意見であっても、包み隠さずに公開する。それも城陽市の実態である。
城陽の自然豊かな環境の中で、日々様々な自然からの恵みを地域の方々が心豊かに提供してくれている今日の生活に感謝の気持ちで一杯の私です。その中の一つとして、毎朝、日中、そして夕方と人々の希望する時間を受け入れて下さり、（参拝する・しない自由に）人々の心豊かな環境と時間を山頂までの裏山を開放して下さっていることに、私達は深々感謝していました。（主人が亡くなって10年程になりますが、市民の方々と自然豊かな世界を楽しませていただいています。神主さんをはじめ、市民の皆さんの歴史が生み出す心のありようが、市全体の中に生きているのだと思って、感謝しております。皆さんともっと共有して話し合い、まちの有り様、大事に私達が残していくものについて、考えたかったです。）
自分が住んでいる城陽のまちを改めて見直す良いきっかけとなったと思います。「好きなところ」は毎日当たり前に過ごしている中で気づきにくく、逆に「嫌いなところ」は年月と共に不満となって大きくなっていくと思います。グループの代表の方々がまとめて下さった結果を見ても、大体同じような感想でしたので、少しずつでも改良していって下さるよう、期待しております。
様々な世代の方と、城陽について話をできたことが良かったです。幅広い考え方やお知恵を持っていらっしゃる方々のお考えやご意見をうかがえて、とても勉強になりました。八幡市からの橋は作ってほしいです。
好きなところについては住みやすい、自然もあり子育てもしやすいという面があり良い思う。嫌いなところについては道路状況や混み具合はどうにかしてほしい。また、城陽市民ならではの特権等があれば良いと思う。

（3）城陽未来まちづくり会議の運営について

城陽未来まちづくり会議の運営について思ったこと、感じたこと
オンラインで会議に参加できることがありがたかったです。スムーズな運営でした。
進行役の進め方が上手く、皆さん多くの意見を出されてましたので、非常に良かったと思います
「城陽未来まちづくり会議の運営」の取り組み自体は素敵な取り組みであり、城陽市について調べる、知る良いきっかけになったと感じる。 一方で、「城陽未来まちづくり会議の運営」をおこなった結果、「どのように市政（施策）へ反映できたのか」や「城陽未来まちづくり会議の意見として挙がった事例の進捗状況など」の具体的な明記やフィードバックなどが、過去の報告書への記載や会議での紹介が無かったように感じる（例：この会議で挙がった意見を参考に、〇〇について拡充を進めている。△△年から支援を開始予定など）。 ※2024年3月の報告書では、「意見の中には、本市の方向性と一致するものもありました。市では、市有地への産科の誘致に向けた取組や、デイサービス型の産後ケアの実施、妊婦歯科治療費の一部助成といった妊娠・出産期における支援の拡充を進めています。」とあるので、その採用とした意見やその進捗状況などを次の城陽未来まちづくり会議で紹介していただけると、本会議の意義を確認することができると思う。 会議だけを行い、その結果を踏まえた改善活動（進捗状況の報告）をしないのであれば、会議をすること自体が無駄となってしまうため。
今回参加して、とても良い機会だと思いました。市民の皆さんが求めていることには一定の共通点があり、優先順位を考えるにはこのような意見交換の機会は大切だと思います。ぜひ継続して実施していただければ、今後の城陽市の発展に役立つと思います。
2時間は少し長いなと思いました。後半、質問がループしていたので、1時間半程度でもよかったのではないかと思いました。また、今回出た意見は、城陽市長や議員の方にも市民の意見として伝えてほしいと思いました。
城陽市の政治について意見した際、「司会役の方が私はそれについて知りませんでした。」等の相槌をしていて不安になった。せめて政治の話題くらいはわかるようにしてほしいです。
同じ城陽市内でも少し離れると知らないことが多く、地域によって世代によってたくさんの問題点が違うこともあるということ。困っていることが改善され、みんなが幸せに暮らせるように。 今回参加したことで参加者の方のメインの話ではなかったですが雑学みたいなのを知れて良かったです。お仕事を引退されたとおっしゃっておられた方の意見は非常にためになりました。もっと聞いていたいと思う内容でした。ありがとうございました。
全体での進行の方だけでなく、グループごとにも進行の方がいらっしゃったおかげで話しやすかったです。改善してほしい部分についてさまざまな意見が出る中、皆さんの意見をまとめていただいたり、意見が出づらい際には話を振っていただき、良い雰囲気で進められたと思います。
初めて参加したが、このような会議があることを知らなかった、もっと市民にアピールしてほしい。 また、このような市民の声を直接、市に提言できる場を続けてほしいし増やしてほしい。
プレミアムアウトレットや新名神高速道路など、城陽市が活気を取り戻す機運となるような開発が進んでいるので、予算や人員の問題もあり実現可能なものとそうでないものがあると思いますが、それらの制約の中で、本会議で出た市民の意見を少しずつ市政に反映していってもらいたいです。
世代や住んでいる地域の違う方々の率直な意見を聞いて、驚きや発見がありました。 こういう形での会議はとても有意義だと思います。ここで出た意見は、ぜひ反映していただけると良いと思います。
正直1時間も話すことがあるのかと最初は不安だったし、私は参加者の中でも若い方なので大人の方と話ができるか、上手く話ができるかが心配でした。しかし司会の方の進行がとても上手だったのと、顔が見えるので話を聞いてくれる方のリアクションや話を真剣に聞いてくれる姿勢が伝わったのでとても話しやすかったです。

城陽未来まちづくり会議の運営について思ったこと、感じたこと
会議全体を通してとてもスムーズでしたので、事前の準備が素晴らしかったのだと思います。こちらも安心して参加することができました。最後の発表役については、進行役の方が当日その場で決められているのかもしれないですが、何も覚悟がなかったので可能であれば事前に伝えられた方が良かったかなと思いました。しかしながら、全く面識のない方々の前でお話しするという貴重な経験ができたことは自分のこれからの自信にもなりましたので、感謝しております。また参加の機会がありましたら、応募させていただきたいと思っています。この度はありがとうございました。
市民の声もしっかり取り入れようとしている城陽市はいいなと感じました。
すごく発言しやすかった。これからもこのような意見を言える会議を進めてほしい
司会者は本当にご苦労様でした。4班に分けて少人数での議論は良かったと思うが、興味、関心が違うので深まらなかった点もあった。また、反論したい点もあったが、十分なチャンスがなかった。市の政策に反映したいという主旨説明があったが、市民への広報、情報提供をしっかりしたうえで、行ってほしい。
自分が選ばれるまで、このような会議の存在を知らなかったので、今回参加させていただいて良かったです。でも、「市民の声」として届けたい想いのある人はいると思うので、立候補の枠が多少あっても良いのかなと思いました（立候補＋選出で構成するなど）。オンラインは現代的で良いですが、希望者は対面で参加できたらうれしかったです（接続が不安な人もいるだろうし、対面が好きな人もいるだろう）。貴重な経験をありがとうございました。
オンラインよりも対面で話し合いをしたかったです。オンラインだと機械関係に弱い人もおり、そのせいで会議の進行がスムーズに行えないと感じる場面がいくつかあったので、可能であれば市役所の空いているスペースでグループごとに話し合いたかったです。また、今回は市民の中から各年代ごとに選出されたように感じました。このやり方は市民の総意を確認するという面で利があるが、各年代ごとに生じる問題が見えにくくなり、すぐに解決できてしまうようなものが見落とされてしまうのではと考えたので、各年代ごとにこのような会議を開くということを提案します。
グループに分かれての対談は男性ばかりで話しづらい部分もありましたが、若い子から高齢者の方まで幅広い年齢層の方とお話しができて良かったです。オンラインだったので気軽に参加できたのは良かったですが、やはり対面形式での参加と比べて聞きづらさや話すタイミングなどやりづらい部分があったので、前回参加したような見守り保育付きでの対面形式での参加があれば良いなと思いました。
人材が必要。政府、財界、議員を動かすほどのプロジェクトが必要。この先、少子化や空き家問題、稼働人口等歳費の増加しか考えられない老人福祉も限界がある。
上手く話しやすいように会話を回していただいて、ありがとうございました。市民と市議会議員、教育委員の方々と話す機会があれば良いなと思います。
途中で通信が切れてしまい（これは私側の環境の問題かも知れませんが）、多人数でWEB会議をする際の課題かもしれません。私自身、多人数でのWEB会議は初めてだったので、何とも言えませんが。
たくさん意見が出た内容を市にしっかり伝えて、実現に向けて協力してほしいと感じた。また、実際に実現した際は、報告をどこかに掲示するようにしてほしい。
市民の声を市長達に届けることができるのは、とても良い会だと感じた。しかし、この会議に参加しなければ、存在を知ることもなかったと思う。もっとこの会議についての情報を広く発信すべきだと感じた。
全員が話しやすいように回してくれていた。京都銀行が参加していて、企業との連動を感じられて良かった。
一つ一つ決まった計画（できた進捗、できなかった進捗結果）の検証を行う。問題点を明らかにする。会議で発表し、次に進む形をとる。
事前に班分けの班番号を教えてもらいたかった。発表者の負担が大きいので、立候補の方がいなければ、市の方でまとめをしてもらえると良いかもしれないと思った。この会議で改善された結果を通知してほしい。

城陽未来まちづくり会議の運営について思ったこと、感じたこと
様々な年代からランダムに選ばれた城陽市民の話し合いは、とても有意義な会議だった。同じ城陽市民という仲間意識も瞬時に作ることができ、他の方が話される内容も想像しやすいものだった。他の城陽市民の方がどのようなことを思いながら生活されているかを知ることもできた。また、市民一人一人の声が市に届く機会が自分にも与えられたと満足感を感じた。そして、城陽市が積極的に市民の意見を聞こうとされるこのような会議の運営に感謝いたします。
私自身不慣れでご迷惑をかけましたが、会議の運営は良かったと思います。面と向かっての会議は緊張して半分も喋れないが、リモート会議は思う存分喋れるので、今後も広めてほしい。
城陽市にはサンガやいちじく、ラーメン屋等、まちのシンボルになるようなものがせっかくあるので、それをもっとアピールして活性化してほしいです。あと学校に保護者が意見を言える場（メール等）があれば良いと思います。この度はこのような貴重な場を設けていただき、ありがとうございました。
市役所の一室にて会議に参加させていただきました。司会者の生の声をタブレットからの声が二重になり、大変聞き取りにくかったこと。他の参加者の方が話される時、とても気になり会議の内容に集中できなかったこと。今回で8回目の開催とのことですが、「市民の声」はどのように発信されるのでしょうか。
過去の議事録を見て、それに関するフォローが見当たらない。言いっ放しになっている印象。もし可能なら年間数回同じテーマで他の市民の方の考えも聞いてみたい。
2時間という短い時間で意見をまとめられたと思う。
2回目の参加でしたが、今回の話もそうだが1回目の話の内容で何か変化があったのか（意見を聞いて）について、教えてもらいたいと思いました。意見を伝えて、あまり変化がないように感じている部分もあるので、まだ次回以降、前回の話をふまえてテーマを設定されていると思うのですが、同じ話の繰り返しになっているので、もう少し焦点を絞っても良いかなと思いました。色々とお世話になり、ありがとうございました。
全体的に良かったです。ただ、会議の名前がもっとフランクになると参加しやすいのかなと思いました。また、メール等で前日にリマインドメールがあると参加を忘れにくいのかなと思いました。
グループに男性が1人しかいなかったので、グループ内の男女比率を揃えてほしかった。
一人一人の意見をくまなく取り入れたとは言えない。事実、私の「パワハラ」意見は重要な問題でありながら、全員に話が行き届いていない。知りたかった、質問をしたかった人もいただろう。コロナの問題もあり、賛否両論あるでしょうが、WEB会議はいささか疑問。面識のない人がばかりの上、モニター越しでは闊達な意見は出にくい。
今日の感染状況を考えると、今回のような形でしかないように思われますが、様々な年代の方々の想いや体験をふまえた言葉を直接お聞きしながら、共に考えていけるような会議が次回持たれたら、若い方々や様々な体験をされた生きた言葉の中から学ぶことが多く持たれるのではと思います。今の時代、お互いの言葉で共有していく世界を話し合って、感じ合うことがとても大事になってきているのではと思うのは私だけでしょうか。こうした取組をしてくださったことに感謝申し上げます。当日の職員の方々の気配りのある対応に心から、ありがとうございました。
リモート会議が初めてでしたので、タブレットの操作も自信が持てず、ご迷惑をおかけしてしまいました。初歩的なことでも会議が始まる前に大丈夫かとお声掛けいただけたら安心だったかと思います。それと発言のタイミングが難しく、つい言葉を飲み込んでいた感があります（初心者ですみません）。お世話になりました。
シニア世代の方々が経験豊かでお元気でいらっしゃるので驚いたことと、ぜひシニアの方々もお元気に過ごせるまちづくりを行政にもしていただきたいです。城陽のことを考えている方がたくさんいらっしゃるのに驚きました。ぜひ、行政の方々を中心に、城陽市の人口増加を目指して政策を作って取り組んでいただきたいです。今回の会議がどのように政策に活用されたかを広報等で教えていただきたいです。

注：記述による回答については、漢字などへの表記替え、句読点や誤字脱字の訂正、表記の統一以外は
　　原文のまま掲載しています。

城陽未来まちづくり会議（55 人委員会）報告書
令和 7 年（2025 年）3 月

【編集・発行】
城陽市 企画管理部 秘書広報課
〒610-0195 京都府城陽市寺田東ノ口 16 番地、17 番地
TEL 0774-52-1111（代表）